

ごみに関する市民アンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 目的

この調査は、市民のごみに関する行動や考え方を把握し、「生駒市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の見直しの基礎資料とするために実施した。

(2) 調査期間と方法

調査期間：令和 7 年 7 月～8 月

調査方法：郵送配布、郵送またはウェブにて回答回収

(3) 調査対象

市民 1,500 人

【選定方法】

住民基本台帳から無作為抽出

(4) 調査項目

- ・ごみに関することについて
- ・新たなごみ分別について
- ・自宅で過ごす時間の变化について
- ・ごみ減量やものを大切にすることにつながる市民活動について
- ・生駒市の取り組みについて
- ・回答者の属性について

(5) 回収の結果

有効回収票数：552 票

有効回答率：36.8%

(6) 留意点

- ・集計では、四捨五入の都合上、数値の合計が 100%にならない場合がある。
- ・グラフ中の n とは、回答者数を表し、無回答を含みますが、無効・除外した回答を含まない。

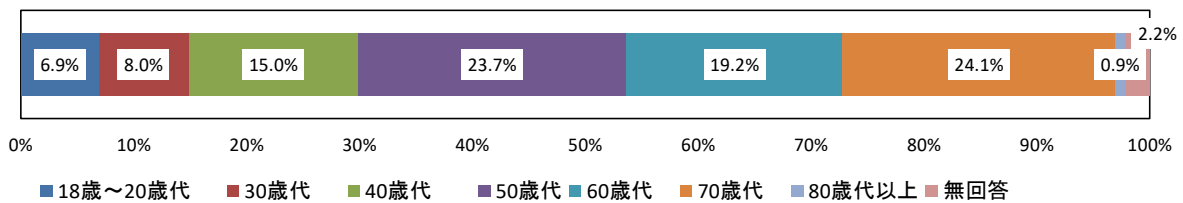
2. 回答者の概要

問 14 アンケートにご回答いただいた方についてお聞きます。(単一回答、n=552)

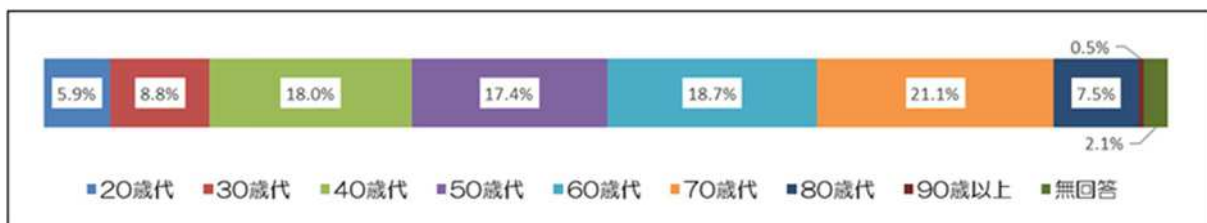
(1) 年代、(2)世帯人数、(3) ごみの分別を主にされる方、(4)住居形態、(5)居住地区

年代は、「70 歳代」が 24.1%で最も多く、次に「50 歳代」が 23.7%だった。また、世帯人数は、「2 人」が 36.8%で最も多く、次に「3 人」が 25.0%、「4 人」が 20.1%だった。ごみの分別を主にされる方については、回答者の「自分」が 54.3%で最も多く、「家族」が 24.1%だった。住居形態は、「一戸建て」が 74.8%で最も多く、次に「共同住宅」が 22.5%だった。居住地区は、「緑ヶ丘中学校区」が 19.6%で最も多く、次に「上中学校区」が 18.8%だった。

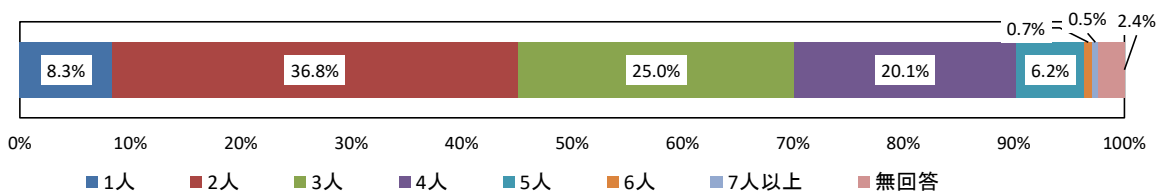
(1) 年代



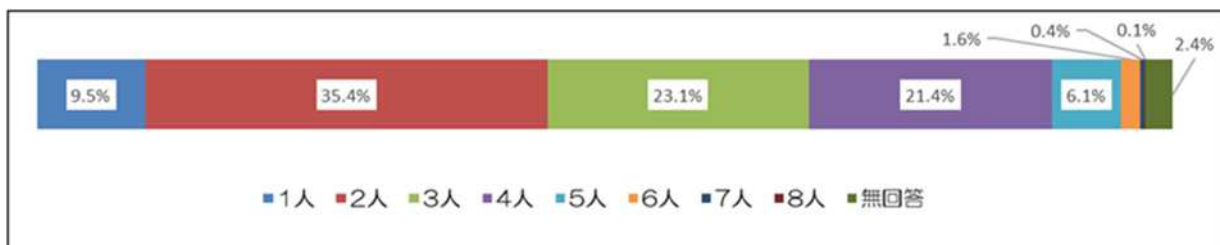
<参考：前回調査>



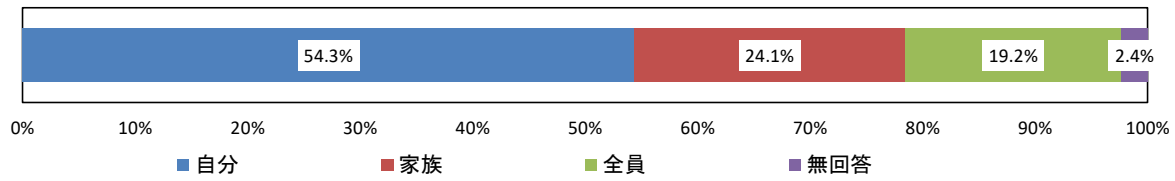
(2) 世帯人数



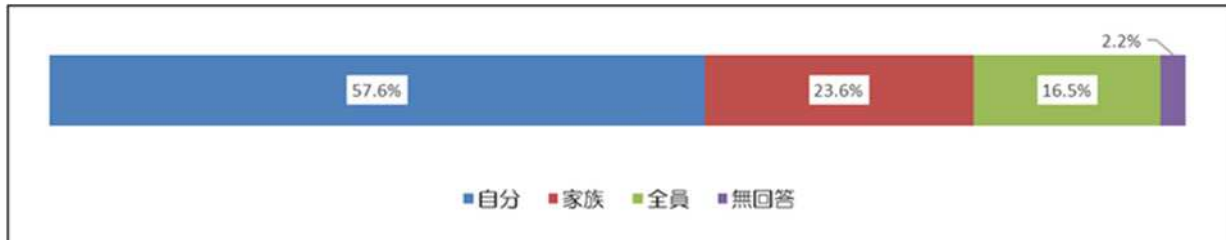
<参考：前回調査>



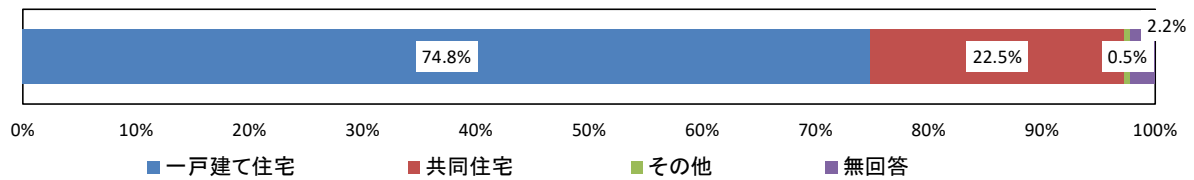
(3) ごみの分別を主にする方



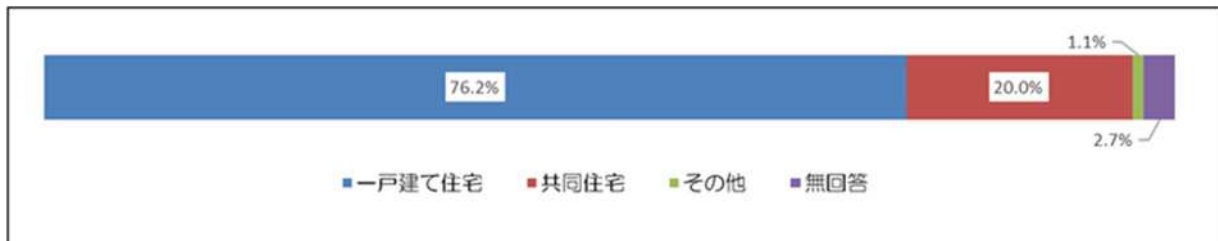
<参考：前回調査>



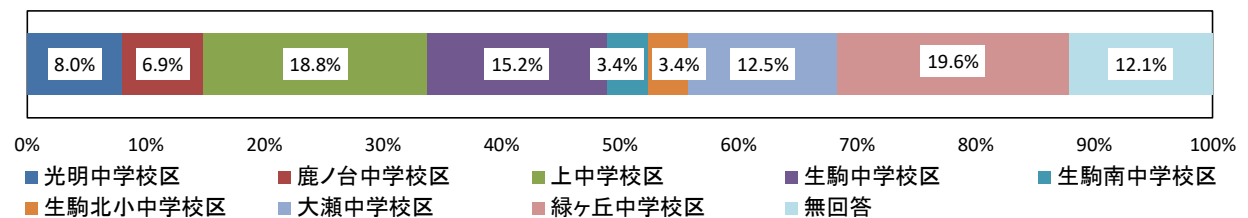
(4) 住居形態



<参考：前回調査>



(5) 居住地区

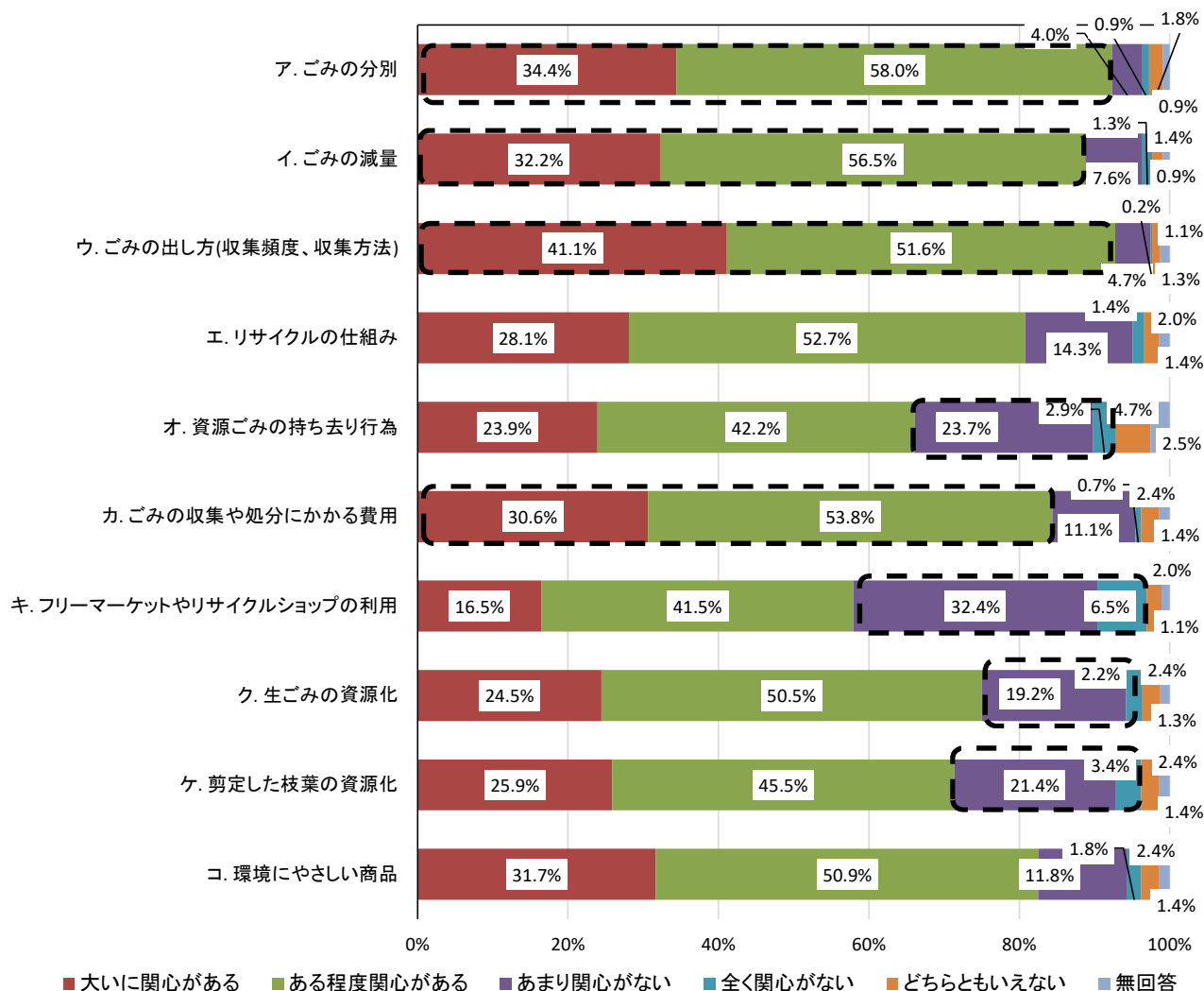


3. 調査結果の詳細

(1) ごみに関することについて

問1 (1) ごみに関することについてお聞きします。関心がある取り組みについて教えてください。
(単一回答、n=552)

関心がある取り組み（大いに関心がある、ある程度関心がある、の計）について、「ウ.ごみの出し方」が92.7%と最も多く、次に「ア.ごみの分別」が92.4%、「イ.ごみの減量」が88.7%、「カ.ごみの収集や処分にかかる費用」が84.4%であった。関心がない取り組み（あまり関心がない、全く関心がない、の計）について、「キ.フリーマーケットなどの利用」が38.9%と最も多く、次に「オ.資源ごみの持ち去り行為」が26.6%、「ケ.剪定した枝葉の資源化」が24.8%、「ク.生ごみの資源化」が21.4%であった。

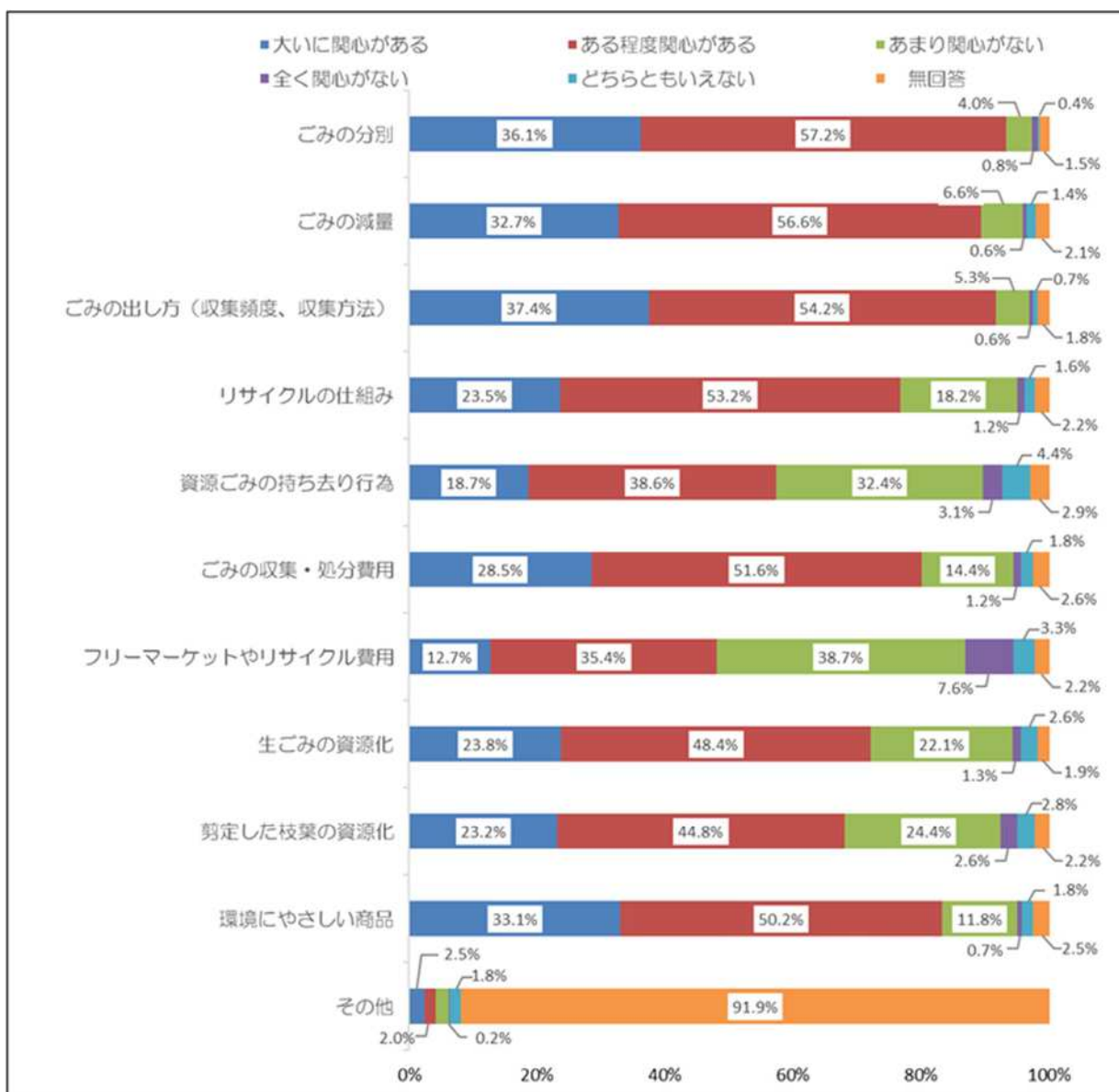


<その他の回答>

- 埋め立てに回される燃えないゴミの効率的なリサイクル方法はないのだろうか。
- ゴミを分別無しで捨てる選択肢も欲しい。

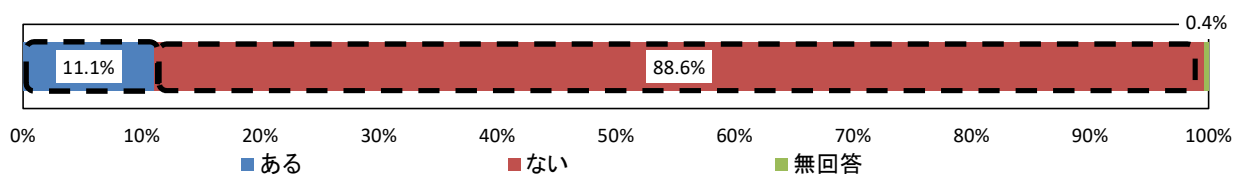
など

<参考：前回調査>



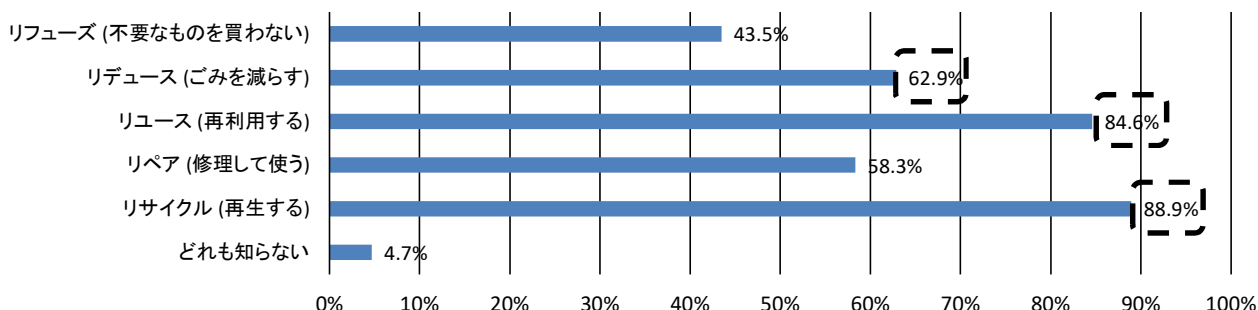
問1（2） 問1（1）であげた内容以外に関心がありますか？（単一回答、n=552）

「ある」が88.6%、「ない」が11.1%、ごみに関するその他の取り組みについても関心度が高かった。

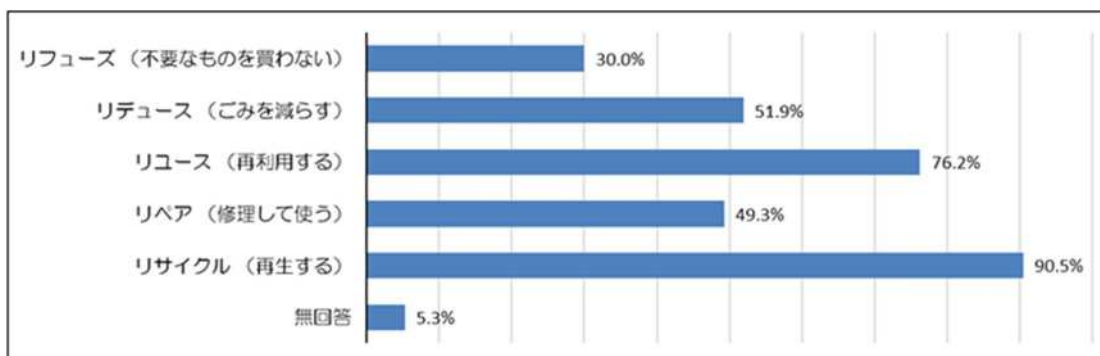


問2（1）5Rの取り組みについてお聞きます。5Rの取り組みのうち知っているもの全てを教えてください。（複数回答、n=552）

「リサイクル」が88.9%で最も多く、次いで「リユース」が84.6%、「リデュース」が62.9%であった。

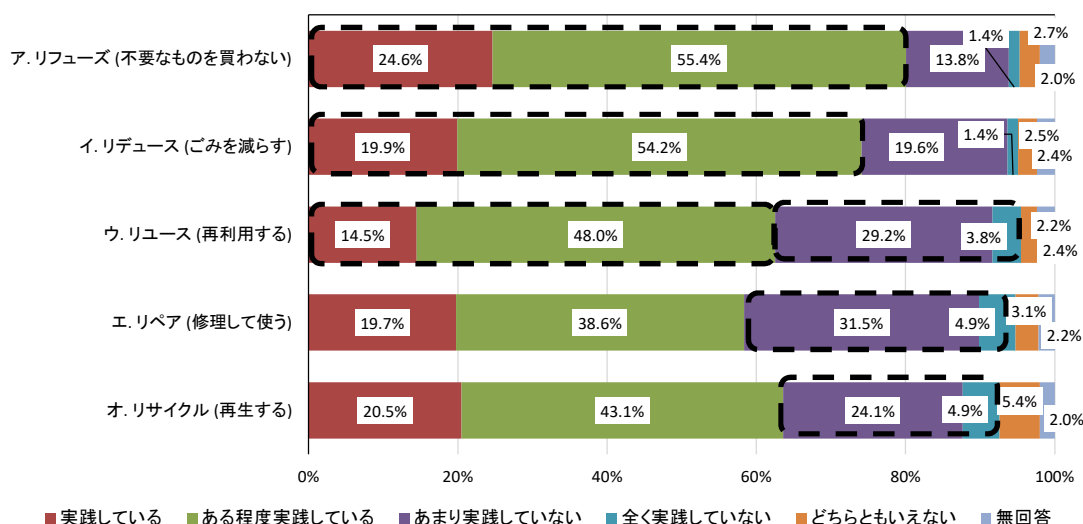


<参考：前回調査>



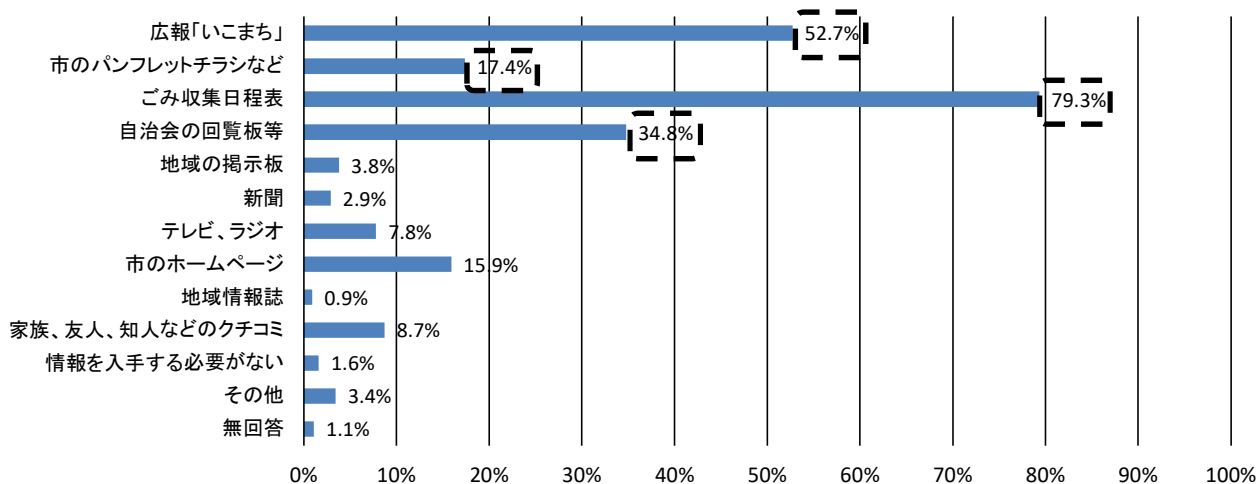
問2（2）5Rの取り組みについてどの程度実践していますか。（単一回答、n=552）

実践している行動（実践している、ある程度実践している、の計）について、「ア.リフューズ」が80.0%と最も多く、次に「イ.リデュース」が74.1%、「ウ.リユース」が62.5%だった。実践していない行動（あまり実践していない、全く実践していない、の計）について、「エ.リペア」が36.4%と最も多く、次に「ウ.リユース」が33.0%、「オ.リサイクル」が29.0%だった。



問3 ごみやリサイクルに関する情報についてお聞きます。どのように入手していますか。(複数回答、n=552)

「ごみ収集日程表」が79.3%で最も多く、次いで「広報いこまち」が52.7%、「自治会の回覧板等」が34.8%、「市のパンフレットなど」が17.4%であった。

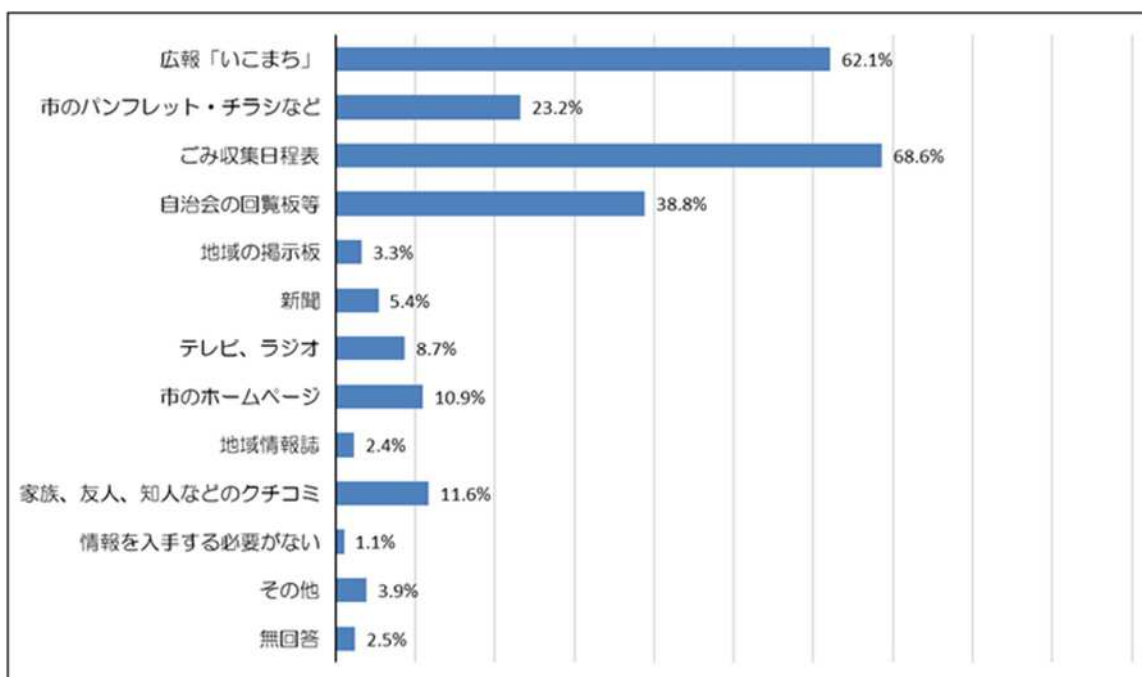


＜その他の回答＞

- リレーセンターに持ち込みの際、教えてもらう。
- サンアールアプリ

など

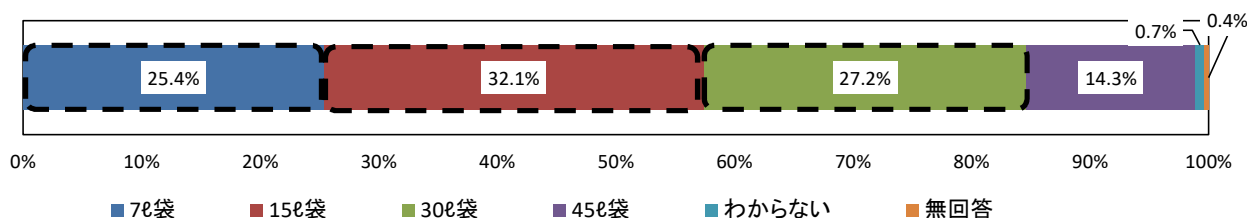
＜参考：前回調査＞



(2) ごみの出し方・分別について

問4(1) 燃えるごみについてお聞きます。燃えるごみ(生ごみを含む)は、主に何の袋を使っていますか。(単一回答、n=552)

「15ℓ袋」が32.1%で最も多く、次いで「30ℓ袋」が27.2%、「7ℓ袋」が25.4%だった。

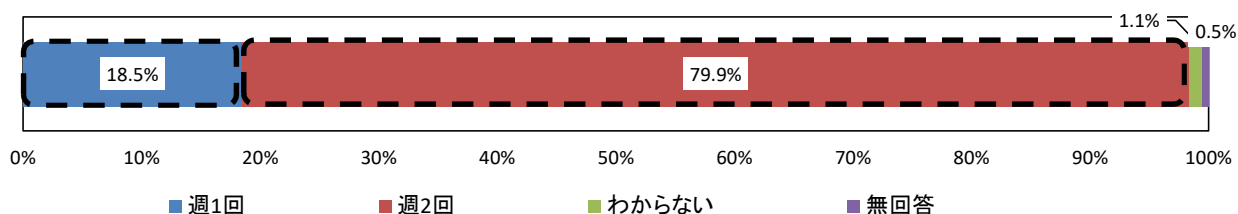


<参考：前回調査>



問4(2) 燃えるごみ(生ごみを含む)を週に何回程度出していますか。(単一回答、n=552)

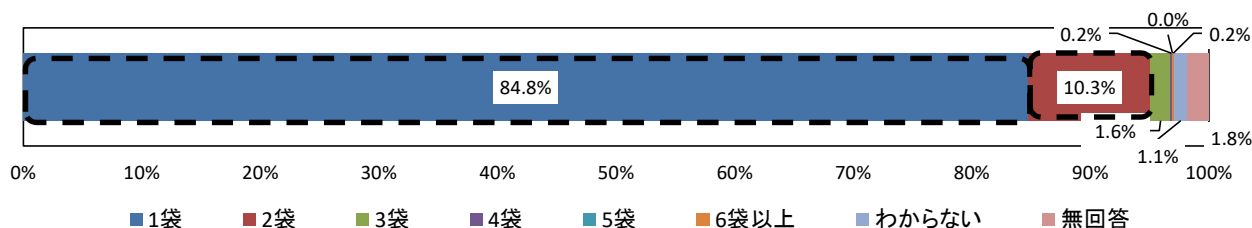
「週2回」が79.9%で最も多く、次に「週1回」が18.5%であった。



<参考：前回調査> 燃えるごみを出す頻度：週に1.84回

問4(3) 燃えるごみ(生ごみを含む)を出す際に1回あたり何袋出していますか。(単一回答、n=552)

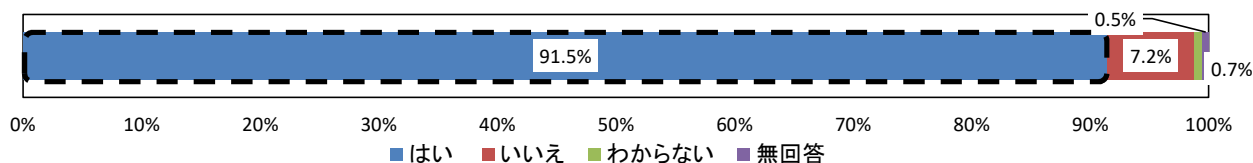
「1袋」が84.8%で最も多く、次に「2袋」が10.3%であった。



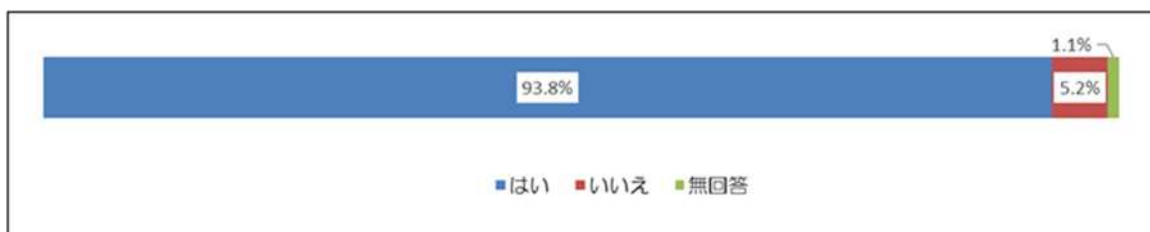
<参考：前回調査> 1回に出す袋：1.21袋/回

問5（1）プラスチック製容器包装の分別についてお聞きします。プラスチック製容器包装を分別していますか。（単一回答、n=552）

「はい」が91.5%で最も多く、プラスチック製容器包装の分別の周知がされている。

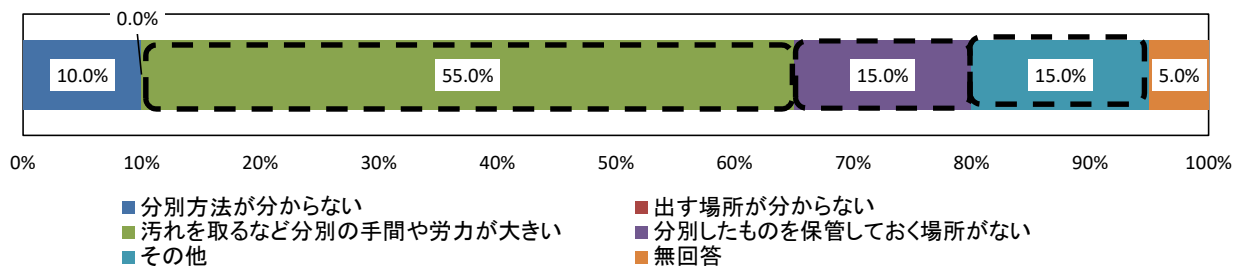


<参考：前回調査>



問5（2） 問5（1）で「いいえ」と回答した方にお聞きします。プラスチック容器包装を分別しない理由は何ですか。（単一回答、n=40）

「分別の手間などが大きい」が55.0%で最も多く、次いで「保管場所がない」と「その他」が15.0%であった。

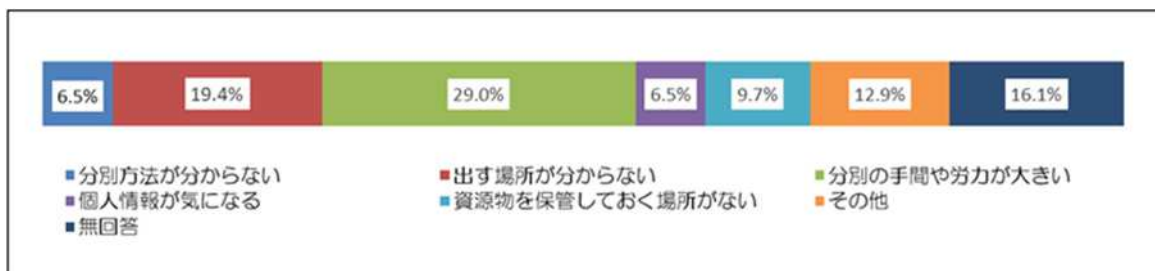


<その他の回答>

- 少量しか出ないので。トレイはスーパーのリサイクルボックスに入れている。
- 分別の必要性を理解していない。

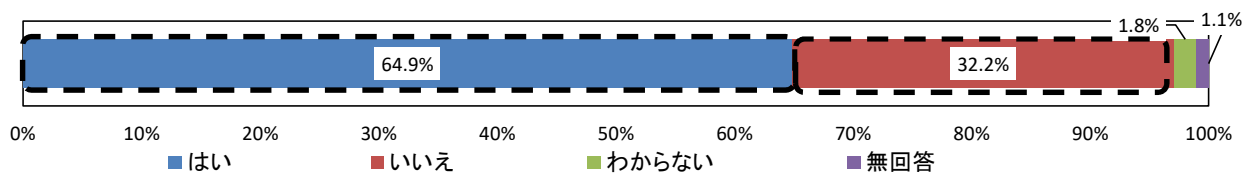
など

<参考：前回調査>



問6（1）自治会、子ども会、PTA、老人会などが行う集団資源回収を利用していますか。（単一回答、n=552）

「はい」が64.9%、「いいえ」が32.2%であった。

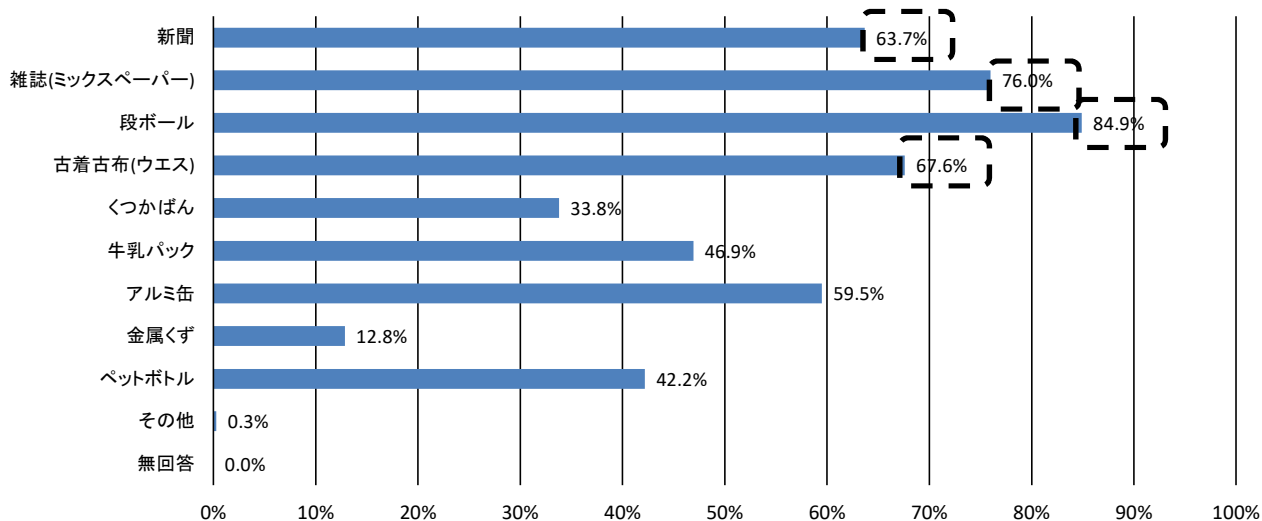


<参考：前回調査>



問6（2） 問6（1）で「はい」と回答した方にお聞きします。集団資源回収で出されている資源物は何ですか。（複数回答、n=358）

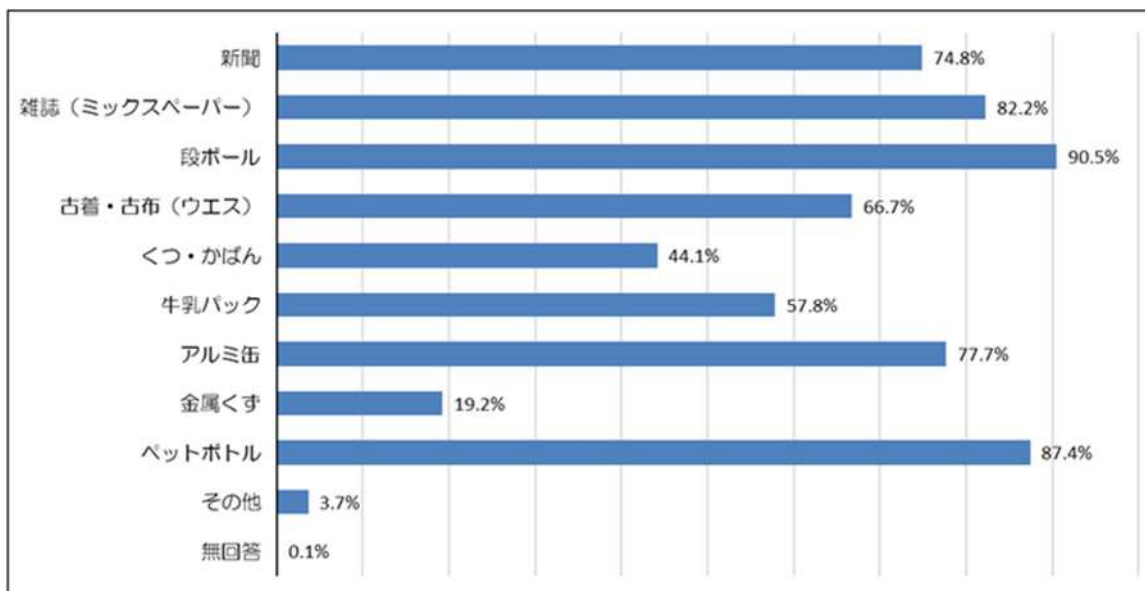
「段ボール」が 84.9%で最も多く、次いで「雑誌」が 76.0%、「古着古布」が 67.6%、「新聞紙」が 63.7%であった。



<その他の回答>

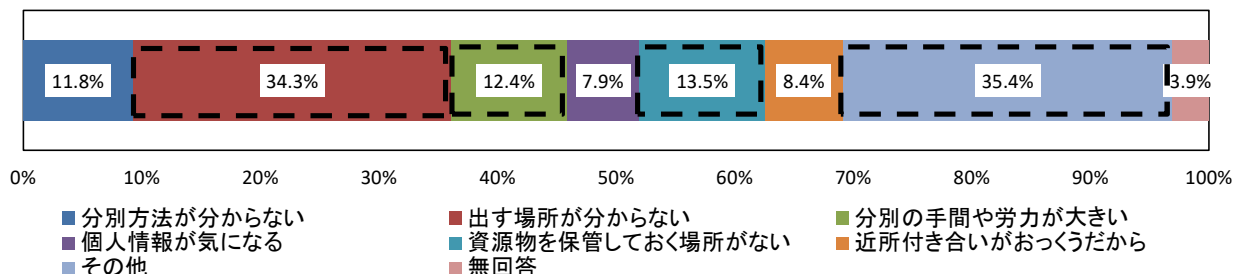
- ビン

<参考：前回調査>



問6（3） 問6（1）で「いいえ」と回答した方にお聞きします。集団資源回収を利用しない理由は何ですか。（複数回答、n=178）

「その他」が35.4%で最も多く、次いで「出す場所がわからない」が34.3%、「保管場所がない」13.5%、「手間や労力が大きい」が12.4%であった。

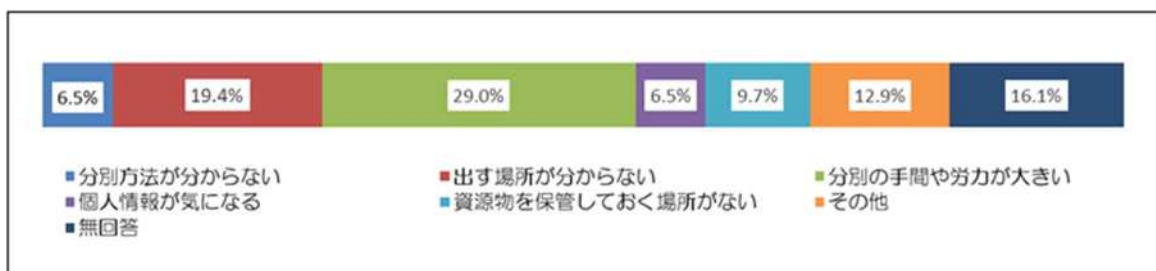


<その他の回答>

- どこに所属したらいいのかわからないから。
- リレーセンターへ持って行っているから。

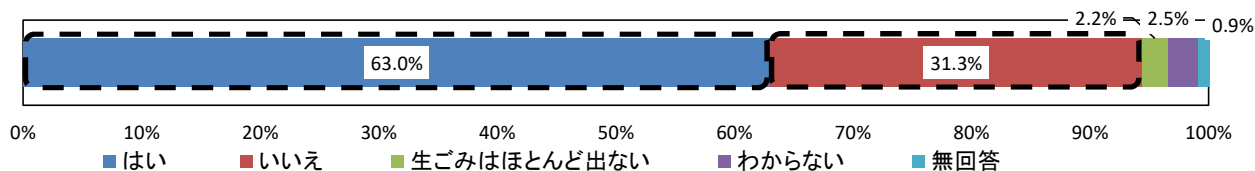
など

<参考：前回調査>



問7（1）生ごみの減量についてお聞きします。生ごみを減らす取り組みをしていますか。（単一回答、n=552）

「はい」が63.0%、「いいえ」が31.3%であった。

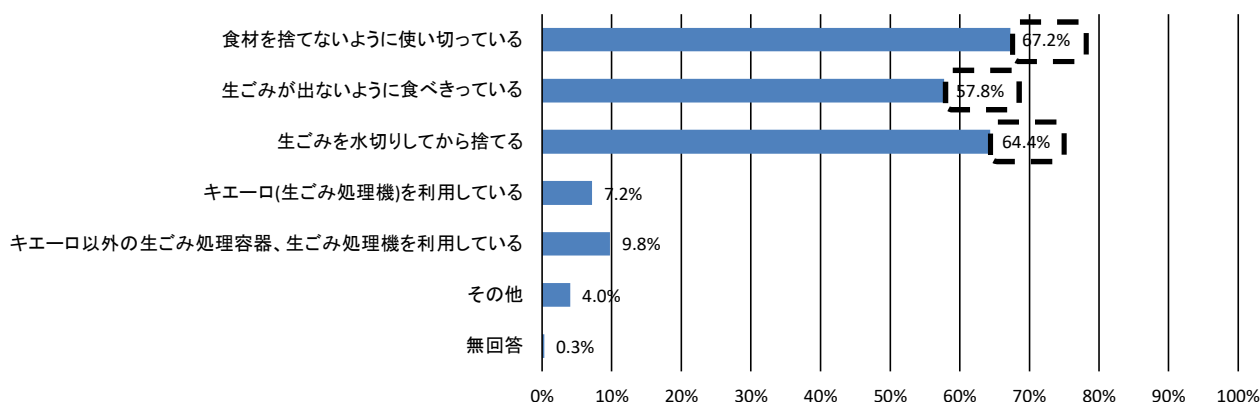


<参考：前回調査>



問7（2） 問7（1）で「はい」と回答した方にお聞きします。生ごみを減らすためにどのような取り組みをしていますか。（複数回答、n=348）

「食材を使い切っている」が67.2%で最も多く、次いで「生ごみを水切りしてから捨てる」が64.4%、「生ごみが出ないように食べきっている」が57.8%であった。

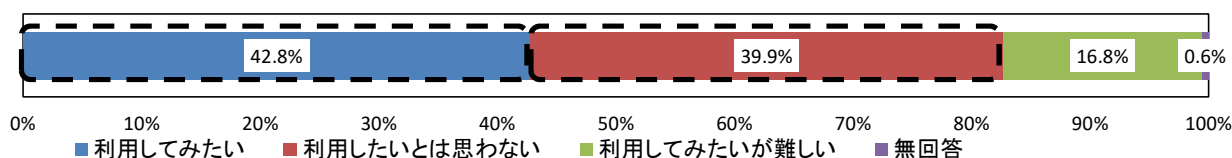


<その他の回答>

- 庭の土に埋めている。 など

問7（3） 問7（1）で「いいえ」と回答した方にお聞きします。生ごみを減らすために処理容器や処理機を利用してみたいと思いますか。（単一回答、n=173）

「利用してみたい」が42.8%、「利用したいと思わない」が39.9%でほぼ拮抗していた。



<「利用してみたいが難しい」と回答した方でその理由>

- マンションだから。
- キエーロを利用しようとしたが、面倒すぎてやめた。

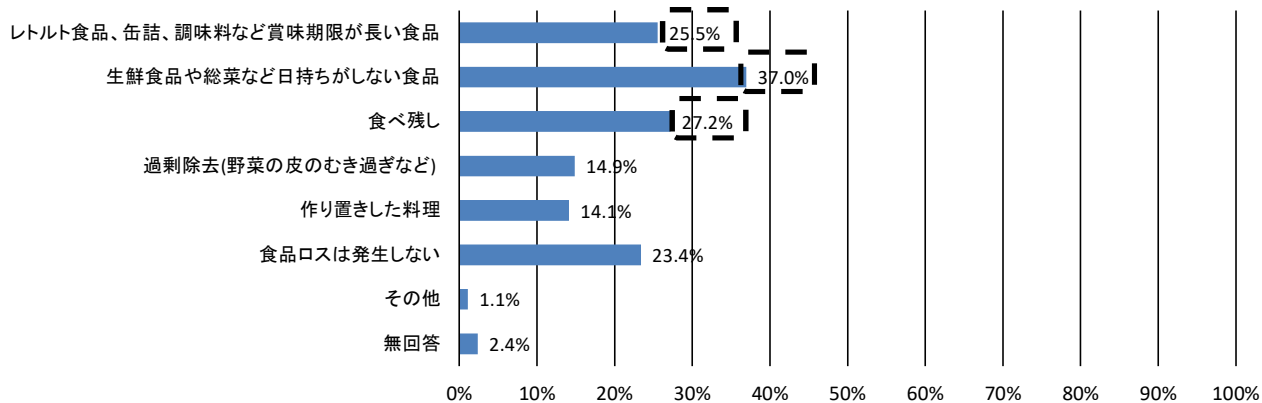
など

<参考：前回調査>



問8（1）食品ロスについてお聞きます。あなたの家庭で発生する食品ロスはどのようなものが多いですか。（複数回答、n=552）

「日持ちがしない食品」が37.0%で最も多く、次いで「食べ残し」が27.2%、「賞味期限の長い食品」が25.5%であった。

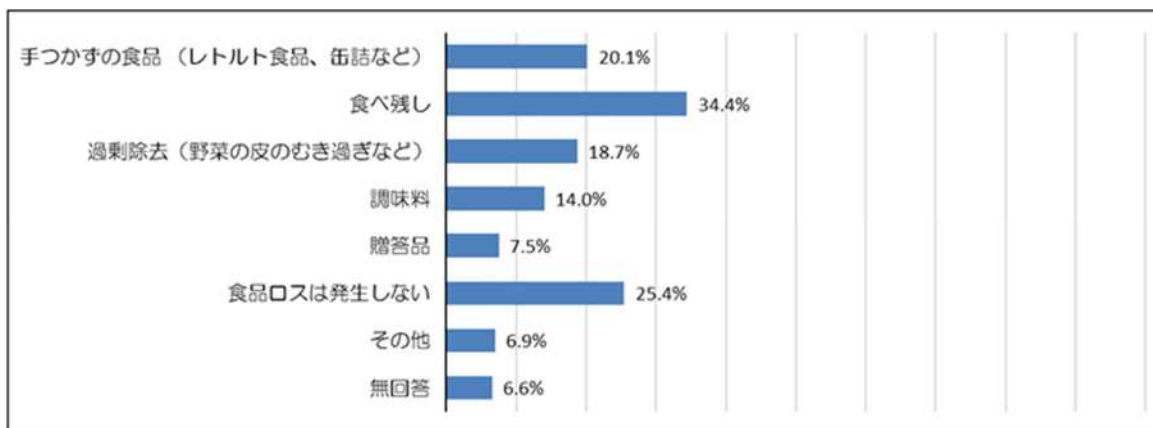


＜その他の回答＞

- 頂き物
- 使い慣れない食材を買ってしまい、気力がなく使えなかった。

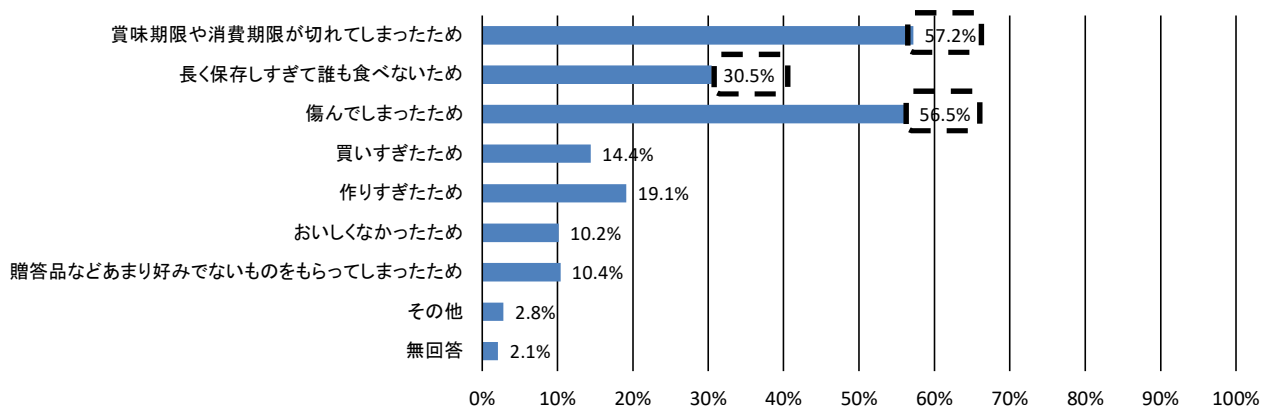
など

＜参考：前回調査＞



問8（2）あなたの家庭で食品ロスが発生する主な理由は何ですか。（複数回答、n=552）

「賞味期限等が切れてしまったため」が57.2%で最も多く、次いで「傷んでしまったため」が56.5%、「誰も食べないため」が30.5%であった。

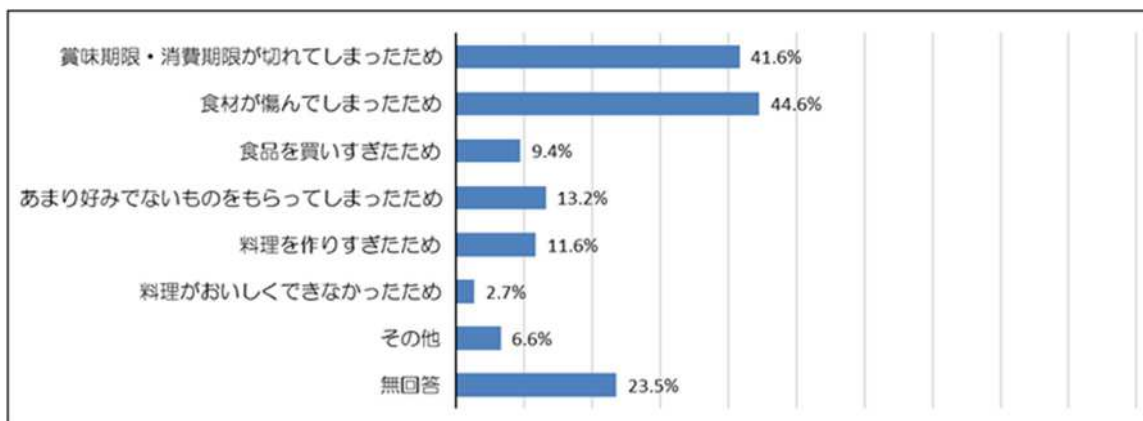


＜その他の回答＞

- 子供の食べ残し
- 家庭菜園でなりすぎて食べきれない。

など

＜参考：前回調査＞



問8（3）食品ロスを出さないために日頃から心がけていることや工夫していることがあれば、自由にご記入ください。

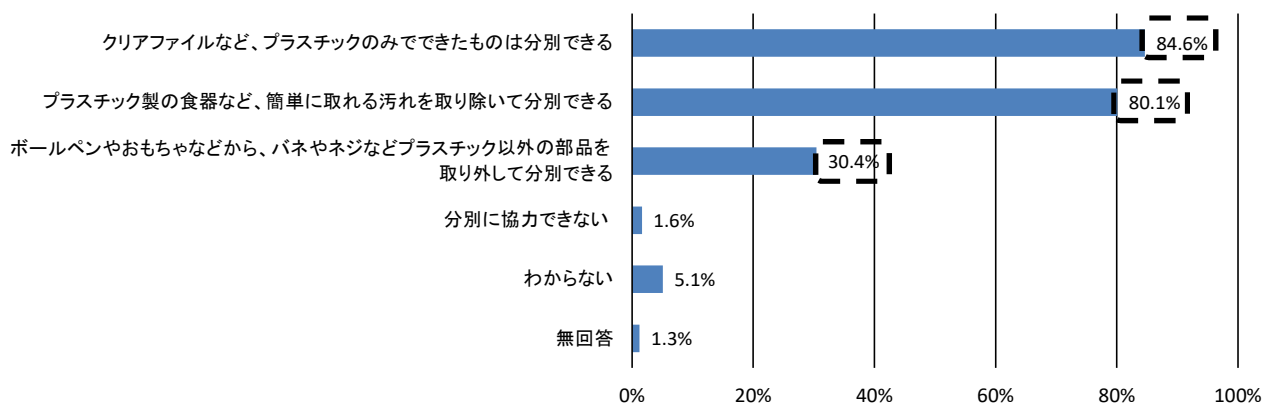
- 食材を使い切る。買いすぎない。
- 計画的な買い物
- 献立を作る時、多く作って冷凍して数日後に利用してムダなく食べている。

など

(3) 新たなごみ分別について

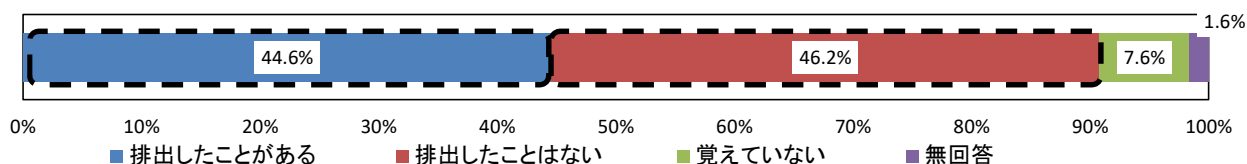
問9 製品プラスチックの分別が始まった場合、あなたが行う行動はどれですか。(複数回答、n=552)

「プラスチックのみでできたものは分別できる」が84.6%で最も多く、次いで「汚れを取り除いて分別できる」が80.1%、「プラスチック以外の部品を取り外して分別できる」が30.4%であった。



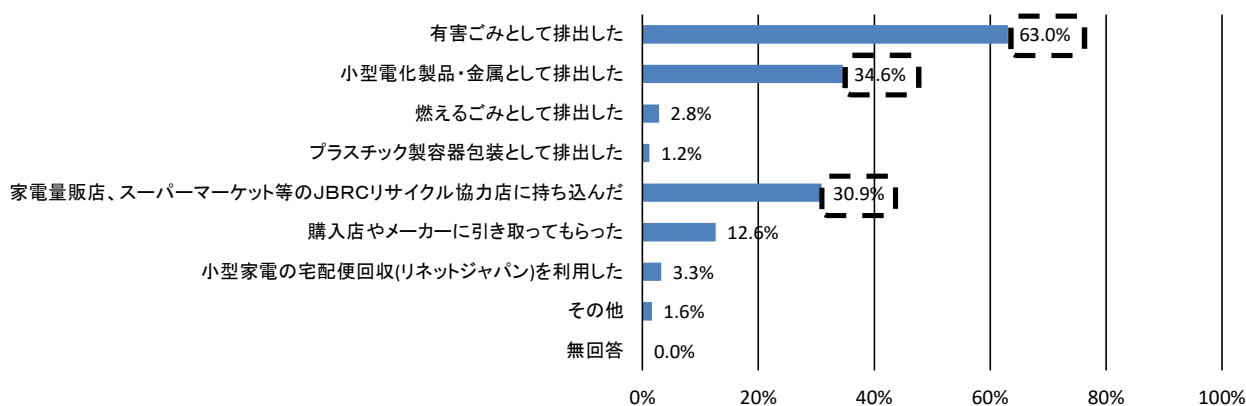
問10 (1) リチウムイオン電池等内蔵製品についてお聞きます。これまでに不要になったリチウムイオン電池等内蔵製品（モバイルバッテリー、ワイヤレスイヤホン、携帯扇風機、電子タバコなど）を排出したことがありますか。(単一回答、n=552)

「排出したことがある」が44.6%、「排出したことはない」が46.2%でほぼ拮抗していた。



問10 (2) 問10 (1)「排出したことがある」と回答した方にお聞きます。どのように排出されましたか。(複数回答、n=246)

「有害ごみとして排出した」が63.0%で最も多く、次いで「小型電化製品・金属として排出した」が34.6%、「JBRC リサイクル協力店に持ち込んだ」が30.9%であった。

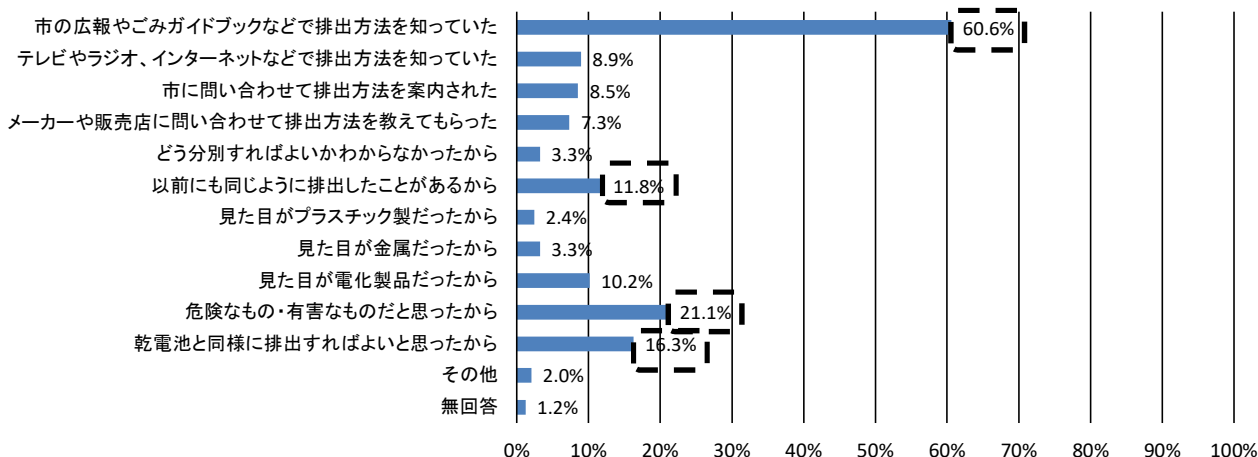


<その他の回答>

- リレーセンターに持ち込んだ。 など

問 10（3） 問 10（1）「排出したことがある」と回答した方にお聞きします。問 10（2）でお答えになった方法で排出された理由は何ですか。（複数回答、n=246）

「市の広報などで排出方法を知っていた」が 60.6%で最も多く、次いで「危険なもの・有害なものだと思ったから」が 21.1%、「乾電池と同様に排出すればよいと思ったから」が 16.3%、「以前にも同じように排出したことがあるから」11.8%だった。



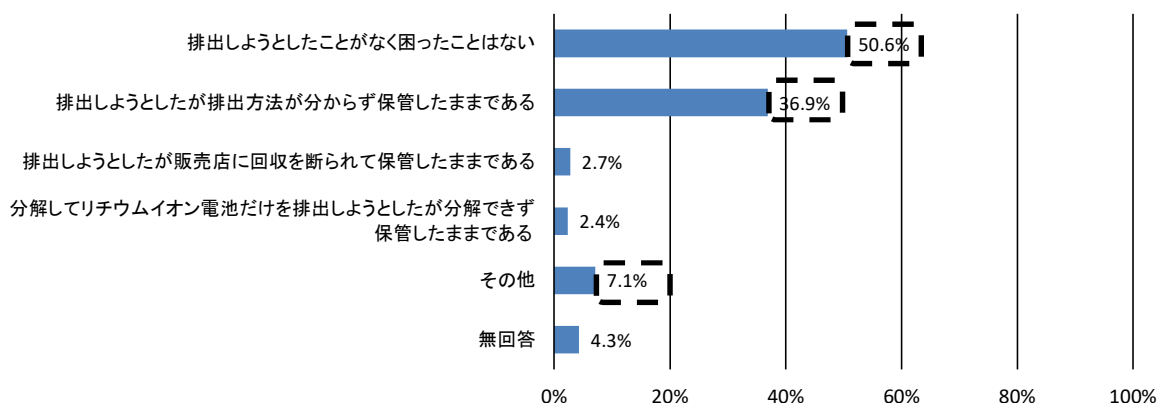
<その他の回答>

- 有害ごみの日に出し忘れた時、燃えるごみの日に出した。
- 市役所に BOX があった。

など

問 10（4） 問 10（1）「排出したことがない」と回答した方にお聞きします。不要になったリチウムイオン電池等内蔵製品を排出しようとして困ったことはありますか。（複数回答、n=255）

「排出しようとしたことがなく困ったことはない」が 50.6%で最も多く、次いで「排出方法がわからず保管したまま」が 36.9%、「その他」が 7.1%だった。



<その他の回答>

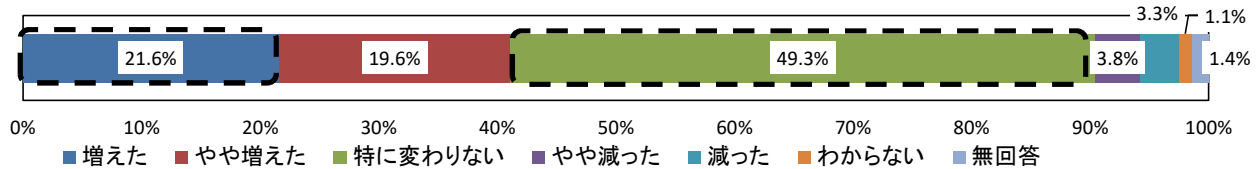
- リチウムイオン電池を使用した製品を利用していない。
- リチウムイオン電池が入っている品かどうか、わからず処分しているかもしれない。

など

(4) 自宅で過ごす時間の変化について

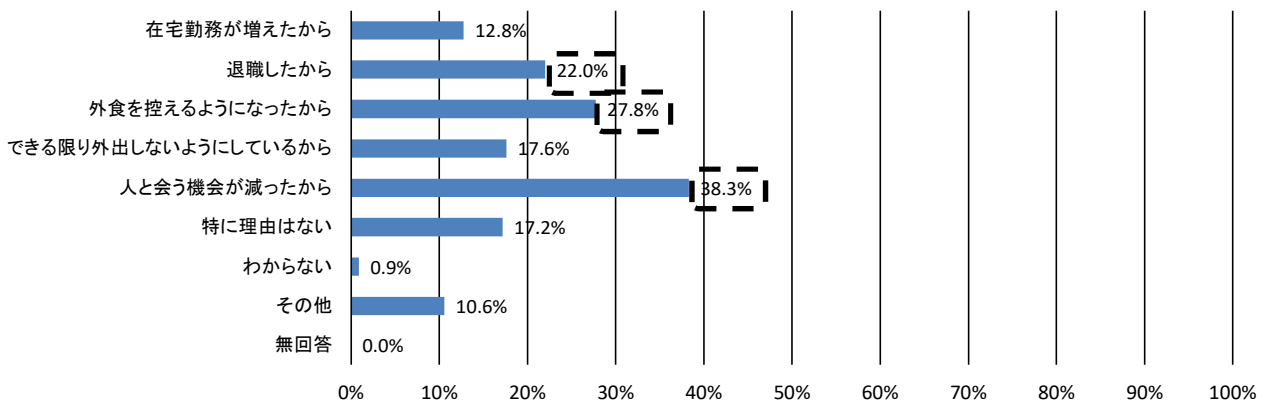
問 11 (1) この5年間のご家庭での生活スタイルの変化やごみ量の変化についてお聞きます。新型コロナウイルス感染症流行前(2019年12月以前)と比べて、現在、自宅で過ごす時間について教えてください。(単一回答、n=552)

「特に変わらない」が49.3%で、「増えた」が21.6%であった。



問 11 (2) 問 11 (1) で「増えた」「やや増えた」を選択した方にお聞きます。その理由について教えてください。(複数回答、n=227)

「人と会う機会が減ったから」が38.3%で最も多く、次いで「外食を控えるようになったから」が27.8%、「退職したから」が22.0%であった。



＜その他の回答＞

- 暑くなったから。
- 働き方改革により休暇が増えたから。
- 家族が増えたから。

など

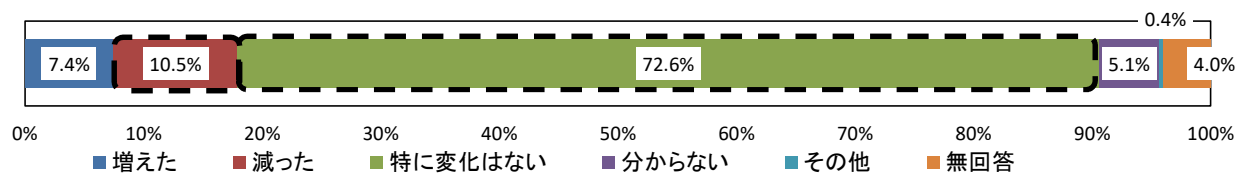
問 11 (3) 問 11 (1) で「やや減った」「減った」を選択した方にお聞きます。その理由について教えてください。

- コロナ禍から仕事量が増えたから。
- コロナを気にせず行動出来るようになったから。
- 親の介護の為、家を空ける事が多くなった。

など

問 11（４） 新型コロナウイルス感染症流行の前と後を比べてご家庭から排出されるごみ量はどうなりましたか。（単一回答、n=552）

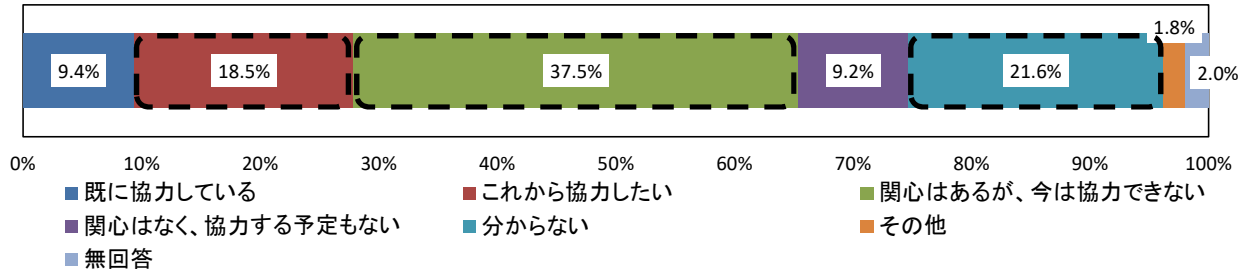
「特に変化はない」が 72.6%で、「減った」が 10.5%であった。



(5) ごみ減量やものを大切にすることにつながる市民活動について

問 12 (1) あなたはごみ減量やものを大切にすることにつながる活動やボランティアに協力したいですか。(単一回答、n=552)

「関心はあるが、今は協力できない」が 37.5%で最も多く、次いで「分からない」が 21.6%、「これから協力したい」が 18.5%であった。



<その他の回答>

- 今は介護で忙しい。
- 内容次第である。協力可能ならやりたい。

など

問 12 (2) 問 12 (1) で「既に協力している」「これから協力したい」を選択した方にお聞きます。あなたが活動するときに市にサポートしてもらいたいことがあれば教えてください。

- 食器などの無料提供をリレーセンターだけでなく他でもして欲しいです。
- キエー口の普及のための周知。使わなくなったおもちゃの再利用へのサポート
- 環境保全活動のボランティアをもっと、ららポートで推進してほしい。

など

問 12 (3) 問 12 (1) で「関心はあるが、今は活動を行えない」を選択した方にお聞きます。差し支えない範囲で理由を教えてください。

- 共働きで子供も小さく仕事も忙しく朝早く夜が遅い。
- ボランティア活動を他にもしている為。
- どういったものがあるのかをまず知りたい。参加しやすそうであれば協力したい。

など

(6) 生駒市の取り組みについて

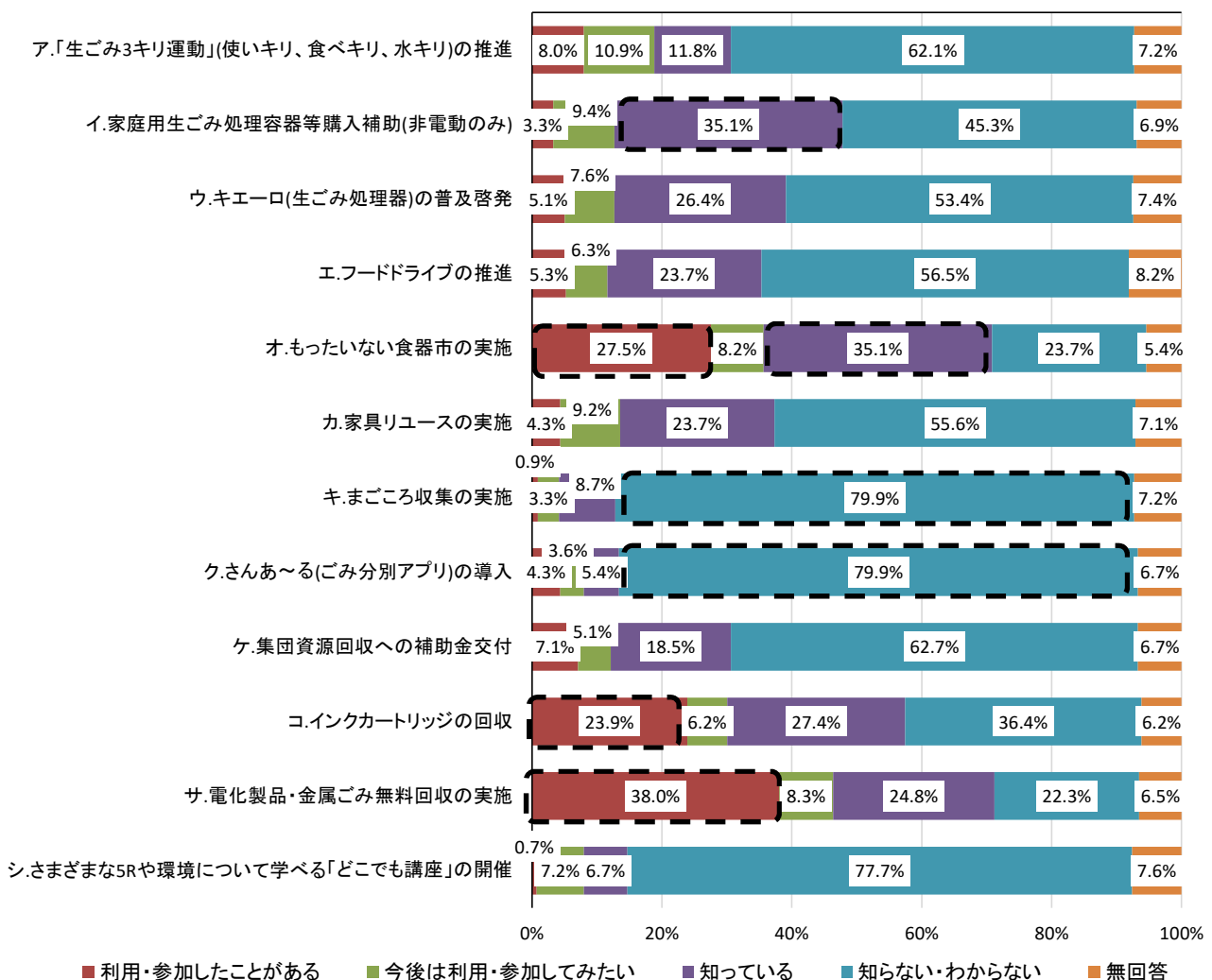
問 13 (1) 生駒市の取り組みについてお聞きます。生駒市ではごみ減量や資源化、適正処理等を目的に様々な取り組みを行っています。認知度や参加状況、重要だと思う取り組みを教えてください。

取り組みの認知度・参加状況などについては、「利用・参加したことがある」が最も多かったのは「サ.電化製品・金属ごみの無料回収」が38.0%で、次いで「オ.もったいない食器市」が27.5%で、「コ.インクカートリッジ回収」が23.9%であった。

「知っている」では、「イ.家庭用生ごみ処理容器等購入補助」が35.1%、「オ.もったいない食器市」35.1%と多かった。

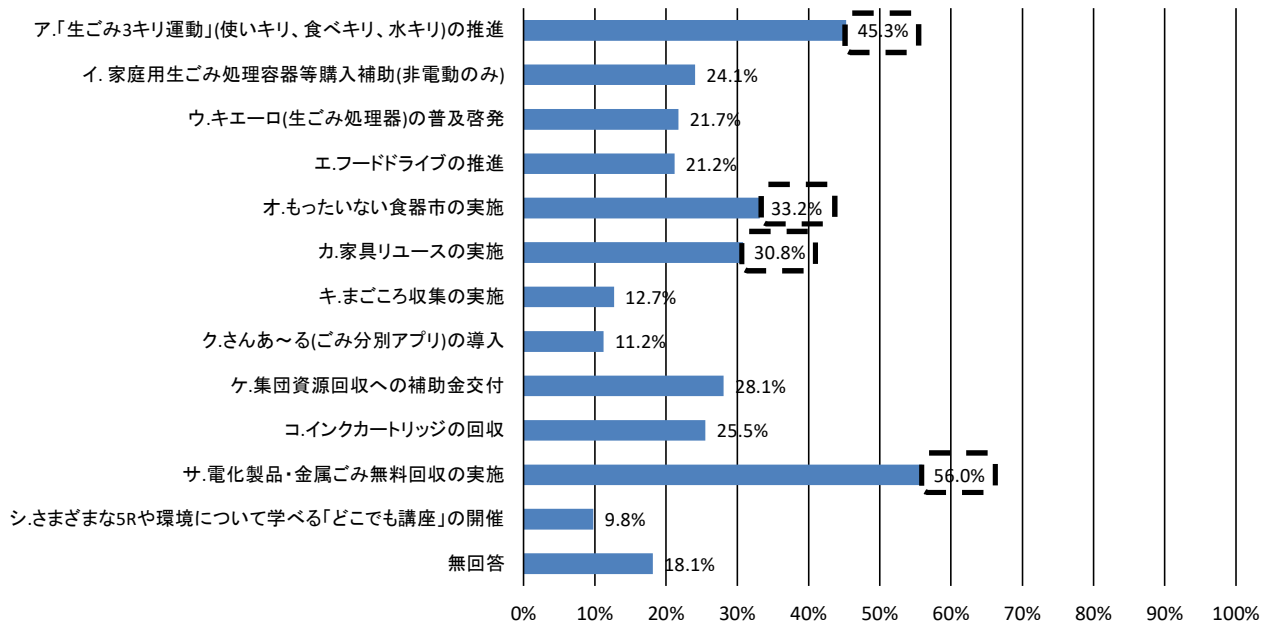
「知らない」では「キ.まごころ収集」が79.9%、「ク.さんあ〜る（ごみ分別アプリ）の導入」が79.9%と多かった。

【認知度や参加状況】（単一回答、n=552）



重要だと思う取り組みについては、「サ.電化製品・金属ごみの無料回収」が 56.0%で最も多く、次いで「ア.生ごみ3キリ運動」が 45.3%、「オ.もったいない食器市」が 33.2%、「カ.家具リユース」が 30.8%だった。

【重要だと思う取り組み】（複数回答、n=552）



(7) 自由記入（代表的な意見抜粋）

問 14（2） ごみの収集や処理、ごみの減量化・資源化について、あなたのご意見、ご要望、アイデアなどありましたら、ご記入ください。

＜意識啓発・情報提供の推進＞

- ごみの分別について、過去にあった問い合わせなどをデータベース化して、閲覧できる様にしてほしい。
- 分別ごみがそれぞれ、どのように処理されているか。また CO2 減少にどう寄与しているかをもっと啓発してください。
- ごみ分別の方法などが変わる時は、どの年代の方もわかりやすいように、ごみ分別のパンフレットや冊子など、各世帯に配付してほしい。
- 古い油などの回収をもっと手軽に出す方法はないのか、もっと宣伝をしてほしい。
- リチウムイオン電池によるごみ集積場の爆発事故をニュースで見て知った。分別回収の重要性、危険性など、もっと市民に知ってもらう必要があるのではないか。

＜ごみの減量・資源化等に関する環境教育・環境学習の推進＞

- ごみを分別して出した時に子供達が楽しめるような入れ物を設置してほしい。
- 学校等でのごみ分別意識の向上やごみに対する各種取り組みの啓蒙活動を行うことで、早い段階からごみについて興味・関心を持ってもらう。
- 生ごみを再利用できたらと思っていましたが、核家族のため、出る量がすくない。家でするのは難しいと感じるため、幼稚園や保育園で生ごみを肥料にするなど子どもも含めた取り組みはどうか。

＜ごみの少ないビジネススタイルの確立＞

- 使い捨て商品や、惣菜、カット野菜など売る方に制限をかける。
- 家庭だけでなくお店も食品ロスに取り組んでほしい。
- レジ袋以上に、プラスチックトレイ（肉、魚、宅配弁当など）の削減に注力すべき。
- メーカーサイドの協力、梱包資材を減らしてもらいたい。

＜市民活動への関心＞

- 分かりやすい分別方法で、継続して行える事が大切だと思います。
- 100 均などで手軽に買える商品が溢れ過ぎていると思う。値段が少々高くても大切に長く使う商品作りに切り替えるべき。
- 無理せず長く続けられるように、あまり法案などで締め付けすぎないほうが良い。ごみの資源化などは、仕組みにポイント制を取り入れたりして、魅力的な交換商品を用意すれば、歩数計のポイ活アプリのように、これまで興味のなかった比較的若年層を取り込めると思われる。
- リチウムイオン電池使用の小型電化製品の事故等が心配です。乾電池等も以前は赤いごみ袋に入れて出していましたが、他のごみと廃棄しない様に専用のごみ袋の配布を年に 1 枚～2 枚作ってみてはどうか。
- ごみの減量やリサイクルに協力したらごみ袋(有料)がもらえる仕組みを作る。

- もったいない食器市だけでなく、不用品交換の場があればいいと思う。
- ごみ袋、大型ごみの無料化をしてほしい。生ごみ処理機の普及。
- 大型ごみの出し方を簡略化してほしい。例えば日時を決めて、一定の場所へ出せる様にしてほしい。プラ容器にプラ以外の付属物が付いていて、はがせない時、プラごみとしては出せないかどうか、分からない。
- 食用油の廃油処理について、現在一箇所に持ち込み回収していますが、資源ごみ回収で巡回回収してもらえると楽だし、回収率も上昇すると思う。
- 製品プラスチックについて、なるべく早く分別に入れて頂きたいです。

<ごみ出しへの不安>

- 資源ごみの回収は、月に1回しかないのだから保管場所がないため困ることがある。月2回くらいにしてほしい。
- 生ごみは当日の朝に出す事になっているが、収集が早いので時間を遅くして欲しい。7時頃なので6時30分～6時50分なので冬はつらい。
- 最近住まいのある東小学校では資源回収量がとても減っている。ご近所でも以前からある25日に各自宅に回収してくれる資源回収が定着してしまっている。（現在ではわいわい会の会費になるもの）小学校で図書や学校の備品の費用にしてほしいと思うのですがなかなか難しいようで、高齢化も進み、自宅前まで回ってくれる業者に資源ごみが回収されることが増えていると痛感している。
- 高齢化が進むので、出しやすいようにしてほしい。家具を移動・整理・排出する市営の業者の斡旋。
- 若い方、働いている方等、ごみの分別は出来てもその日、その時間に出せない。以前、南生駒駅前にビン缶など捨てるスペースがあった。こういう物をもっと設置すべき。
- ごみネットやごみ収集ボックスを生駒市から定期的に（数年に一回）自治会に支給してほしい。
- ごみの分別が正しくなされず、土鍋、植木鉢など収集されずに放置のままのケースが多い。捨てた本人も取りに来ないので近所迷惑だ。当日、収集可能なごみは何か、分別間違っていないか、各自が明確に判る様、もっと目立つ看板（図入り）を収集場所に立てる。

<不法投棄など迷惑行為>

- ごみ回収は市の垣根を超えて美化を推進すべき。阪奈道路の四條畷との境目付近のごみは撤去して欲しい。不法廃棄者には厳罰。
- ごみ処理について、近隣の田畑での草木を燃やすことはやめてほしい。火の粉や灰が飛んでくるので火災にならないか心配。悪臭が長時間漂っていて不快。体調が悪くなる。
- アルミ缶を勝手に持って行く業者がいる。

<その他>

- 生駒市指定のごみ袋が破れてしまった事がある為、ごみ袋の強度を上げてほしい。
- 昔のような分別袋の無料配布。
- 有料ごみ袋に20ℓを加えて欲しい。

卷 末 資 料

調 查 票

生駒市 ごみに関するアンケート調査

〇ごみに関することについて

問1 以下のごみに関することについてお聞きします。

7～サの内容に対し、最も当てはまるものを 1 ～ 5 から <u>1つずつ選び〇</u> を付けてください。	関 心 大 い に あ る	関 心 あ る 程 度 あ る	関 心 あ ま り な い	関 心 全 く な い	ど ち ら と も い え な い
0. 記入例	1	2	3	4	5
ア. ごみの分別	1	2	3	4	5
イ. ごみの減量	1	2	3	4	5
ウ. ごみの出し方(収集頻度、収集方法)	1	2	3	4	5
エ. リサイクルの仕組み	1	2	3	4	5
オ. 資源ごみの持ち去り行為	1	2	3	4	5
カ. ごみの収集や処分にかかる費用	1	2	3	4	5
キ. フリーマーケットやリサイクルショップの利用	1	2	3	4	5
ク. 生ごみの資源化	1	2	3	4	5
ケ. 剪定した枝葉の資源化	1	2	3	4	5
コ. 環境にやさしい商品	1	2	3	4	5
サ. その他()	1	2	3	4	5

問2 5Rの取り組みについてお聞きします。

(1) 5Rの取り組みのうち知っているもの全てに〇を付けてください。

1. リフューズ（不要なものを買わない）	2. リデュース（ごみを減らす）
3. リユース（再利用する）	4. リペア（修理して使う）
5. リサイクル（再生する）	

(2) 5Rの取り組みについてどの程度実践していますか。

7～オの5Rの取り組みについて、最も当てはまるものを1 ～ 5 から <u>1つずつ選び、〇</u> を付けてください。	実 践 し て い る	実 践 あ る 程 度 あ る	実 践 あ ま り し て い な い	実 践 全 く し て い な い	ど ち ら と も い え な い
ア. リフューズ（不要なものを買わない）	1	2	3	4	5
イ. リデュース（ごみを減らす）	1	2	3	4	5
ウ. リユース（再利用する）	1	2	3	4	5
エ. リペア（修理して使う）	1	2	3	4	5
オ. リサイクル（再生する）	1	2	3	4	5

問3 ごみやリサイクルに関する情報についてお聞きします。どのように入手していますか。(○は3つまで)

1. 広報「いこまち」	2. 市のパンフレット・チラシなど
3. ごみ収集日程表	4. 自治会の回覧板等
5. 地域の掲示板	6. 新聞
7. テレビ、ラジオ	8. 市のホームページ
9. 地域情報誌	10. 家族、友人、知人などのクチコミ
11. 情報を入手する必要がない	12. その他()

○ごみの出し方・分別について

問4 燃えるごみについてお聞きします

(1) 燃えるごみ(生ごみを含む)は、主に何ℓの袋を使っていますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

1. 7ℓ	2. 15ℓ	3. 30ℓ	4. 45ℓ
-------	--------	--------	--------

(2) 燃えるごみ(生ごみを含む)を週に何回程度出していますか。また、1回に何袋出していますか

週()回	()袋 / 回
-------	----------

問5 プラスチック製容器包装の分別についてお聞きします。

(1) プラスチック製容器包装を分別していますか。

1. はい	→問6へ
2. いいえ	→問5(2)

(2) プラスチック容器包装を分別しない理由は何ですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

1. 分別方法が分からない	2. 出す場所が分からない
3. 汚れを取るなど分別の手間や労力が大きい	
4. 分別したものを保管しておく場所がない	
5. その他()	

問6 集団資源回収についてお聞きします。

(1) 自治会、子ども会、PTA、老人会などが行う集団資源回収を利用していますか。

1. はい	→(2)へ
2. いいえ	→(3)へ

(2) 集団資源回収で出されている資源物は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

1. 新聞	2. 雑誌(ミックスペーパー)	3. 段ボール
4. 古着・古布(ウエス)	5. くつ・かばん	6. 牛乳パック
7. アルミ缶	8. 金属くず	9. ペットボトル
10. その他()		

(3) 集団資源回収を利用しない理由は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

1. 分別方法が分からない	2. 出す場所が分からない
3. 分別の手間や労力が大きい	4. 個人情報に気になる
5. 資源物を保管しておく場所がない	6. 近所付き合いがおっくうだから
7. その他()	

問7 生ごみの減量についてお聞きします。

(1)生ごみを減らす取り組みをしていますか。

- | |
|----------------------|
| 1. はい → (2)へ |
| 2. いいえ → (3)へ |
| 3. 生ごみはほとんど出ない → 問8へ |

(2)どのような取り組みをしていますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 食材を捨てないように使い切っている |
| 2. 生ごみが出ないように食べきっている |
| 3. 生ごみを水切りしてから捨てる |
| 4. キエーロ（生ごみ処理機）を利用している |
| 5. キエーロ以外の生ごみ処理容器、生ごみ処理機を利用している |
| 6. その他() |

(3)生ごみを減らすために処理容器や処理機を利用してみたいと思いますか。当てはまるもの 1つに○を付けてください。

- | |
|----------------|
| 1. 利用してみたい |
| 2. 利用したいとは思わない |
| 3. 利用してみたいが難しい |
| →※難しい理由() |

問8 食品ロスについてお聞きします。当てはまるもの全てに○を付けてください。

(1)あなたの家庭で発生する食品ロスはどのようなものが多いですか。

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. レトルト食品、缶詰、調味料など賞味期限が長い食品 | |
| 2. 生鮮食品や総菜など日持ちがしない食品 | 3. 食べ残し |
| 4. 過剰除去(野菜の皮のむき過ぎなど) | 5. 作り置きした料理 |
| 6. 食品ロスは発生しない → (3)へ | |
| 7. その他() | |

(2)あなたの家庭で食品ロスが発生する主な理由は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 賞味期限や消費期限が切れてしまったため |
| 2. 長く保存しすぎて誰も食べないため |
| 3. 傷んでしまったため |
| 4. 買いすぎたため |
| 5. 作りすぎたため |
| 6. おいしくなかったため |
| 7. 贈答品などあまり好みでないものをもらってしまったため |
| 8. その他() |

(3)食品ロスを出さないために日頃から心がけていることや工夫していることがあれば、自由にご記入ください。

--

○新たなごみ分別について

問 9 製品プラスチックについてお聞きします。

現在、国ではプラスチック資源の有効活用を目的に、プラスチック製容器包装だけでなく、その他の製品プラスチック※も分別回収しリサイクルすることを推進しています。

(※ プラスチック製のクリアファイルや洗面器 など)

生駒市で製品プラスチックの分別が始まった場合に、以下の選択肢のうちあなたが取り組める行動はどれですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|---|----------|
| 1. クリアファイルなど、プラスチックのみでできたものは分別できる | |
| 2. プラスチック製の食器など、簡単に取れる汚れを取り除いて分別できる | |
| 3. ボールペンやおもちゃなどから、バネやネジなどプラスチック以外の部品を取り外して分別できる | |
| 4. 分別に協力できない | 5. わからない |

問 10 リチウムイオン電池等内蔵製品についてお聞きします。

(1) これまでに不要になったリチウムイオン電池等内蔵製品※を排出したことがありますか。当てはまるもの 1つに○ を付けてください。(※モバイルバッテリー、ワイヤレスイヤホン、携帯扇風機、電子タバコ など)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 排出したことがある | → (2) にお進みください。 |
| 2. 排出したことはない | → (3) にお進みください。 |
| 3. 覚えていない | → 問 11 にお進みください。 |

(2) (1)で『1. 排出したことがある』と回答した方にお聞きします。以下の2つの問いにご回答ください。

【排出方法】どのように排出されましたか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 有害ごみとして排出した | 2. 小型電化製品・金属として排出した |
| 3. 燃えるごみとして排出した | 4. プラスチック製容器包装として排出した |
| 5. 家電量販店、スーパーマーケット等のJ B R Cリサイクル協力店に持ち込んだ | |
| 6. 購入店やメーカーに引き取ってもらった | |
| 7. 小型家電の宅配便回収（リネットジャパン）を利用した | |
| 8. その他（ ） | |

【排出の理由】前問でお答えになった方法で排出された理由は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 市の広報やごみガイドブックなどで排出方法を知っていた |
| 2. テレビやラジオ、インターネットなどで排出方法を知っていた |
| 3. 市に問い合わせで排出方法を案内された |
| 4. メーカーや販売店に問い合わせで排出方法を教えてもらった |
| 5. どう分別すればよいかわからなかったから |
| 6. 以前にも同じように排出したことがあるから |
| 7. 見た目がプラスチック製だったから |
| 8. 見た目が金属だったから |
| 9. 見た目が電化製品だったから |
| 10. 危険なもの・有害なものだと思ったから |
| 11. 乾電池と同様に排出すればよいと思ったから |
| 12. その他（ ） |

- (3) (1)で『2. 排出したことがない』と回答した方にお聞きします。
不要になったリチウムイオン電池等内蔵製品を排出しようとして困ったことはありますか。
当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | |
|--|
| 1. 排出しようとしたことがなく困ったことはない |
| 2. 排出しようとしたが排出方法が分からず保管したままである |
| 3. 排出しようとしたが販売店に回収を断られて保管したままである |
| 4. 分解してリチウムイオン電池だけを排出しようとしたが分解できず保管したままである |
| 5. その他 () |

○自宅で過ごす時間の変化について

問 11 この5年間のご家庭での生活スタイルの変化やごみ量の変化についてお聞きします。

- (1)新型コロナウイルス感染症流行前(2019年12月以前)と比べて、現在、自宅で過ごす時間について
当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 増えた | 2. やや増えた | 3. 特に変わらない |
| 4. やや減った | 5. 減った | 6. わからない |

- (2) (1)で「1. 増えた」「2. やや増えた」を選択した方にお聞きします。
その理由について教えてください。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 在宅勤務が増えたから | 2. 退職したから |
| 3. 外食を控えるようになったから | 4. できる限り外出しないようにしているから |
| 5. 人と会う機会が減ったから | 6. 特に理由はない |
| 7. わからない | |
| 8. その他 () | |

- (3) (1)で「4. やや減った」「5. 減った」を選択した方にお聞きします。
その理由について教えてください。(自由記述)

- (4)新型コロナウイルス感染症流行の前と後を比べてご家庭から排出されるごみ量はどうになりましたか。
当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 増えた | 2. 減った |
| 3. 特に変化はない | 4. 分からない |
| 5. その他 () | |

○ごみ減量やものを大切にすることにつながる市民活動について

問 12 ごみ減量やものを大切にすることにつながる活動やボランティアについてお聞きします。

- (1)あなたはごみ減量やものを大切にすることにつながる活動やボランティアに協力したいですか。
1つに○を付けてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 既に協力している | 2. これから協力したい |
| 3. 関心はあるが、今は協力できない | 4. 関心はなく、協力する予定もない |
| 5. 分からない | |
| 6. その他 () | |

- (2) (1)で「1. 既に協力している」「2. これから協力したい」を選択した方にお聞きします。あなたが活動するときに市にサポートしてもらいたいことがあれば教えてください。(自由記述)

- (3) (1)で「3. 関心はあるが、今は活動を行えない」を選択した方にお聞きします。差し支えない範囲で理由を教えてください。(自由記述)

○生駒市の取り組みについて

問 13 生駒市の取り組みについてお聞きします。

- (1) 生駒市ではごみ減量や資源化、適正処理等を目的に様々な取り組みを行っています。以下の取り組みに対して、右の「A」の1～4のうち、当てはまる番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。また、「B」の該当する箇所に○を付けてください。

取り組み毎に当てはまる番号1つを選んで○を付けてください。

この欄に重要だと思う取り組み全てに○を付けてください。

生駒市の取り組み	A				B
	認知度・参加状況などがある	利用したい	今後は利用したい	知らなかったが、今知った	重要な取り組み
ア. 「生ごみ3キリ運動」(使いキリ、食べキリ、水キリ)の推進	1	2	3	4	
イ. 家庭用生ごみ処理容器等購入補助(非電動のみ)	1	2	3	4	
ウ. キューロ(生ごみ処理器)の普及啓発	1	2	3	4	
エ. フードドライブの推進	1	2	3	4	
オ. もったいない食器市の実施	1	2	3	4	
カ. 家具リユースの実施	1	2	3	4	
キ. まごころ収集の実施	1	2	3	4	
ク. さんあ〜る(ごみ分別アプリ)の導入	1	2	3	4	
ケ. 集団資源回収への補助金交付	1	2	3	4	
コ. インクカートリッジの回収	1	2	3	4	
サ. 電化製品・金属ごみ無料回収の実施	1	2	3	4	
シ. さまざまな5Rや環境について学べる「どこでも講座」の開催	1	2	3	4	

(2) (1)で『1. 利用・参加したことがある』『2. 今後は利用・参加してみたい』と回答した方にお聞きします。あなたが取り組みに参加（利用）している・参加（利用）したい理由をお聞かせください。

(3) (1)で『3. 知っている』と回答した方にお聞きします。
あなたが取り組みに参加（利用）できない理由をお聞かせください。

○回答されたあなた自身について教えてください

問 14 年代

1. 18 歳～20 歳代	2. 30 歳代	3. 40 歳代	4. 50 歳代
5. 60 歳代	6. 70 歳代	7. 80 歳代以上	

問 15 世帯人数（あなた自身も含めて）

人

問 16 ごみの分別を主にされる方

1. 自分	2. 家族	3. 全員
-------	-------	-------

問 17 お住まいの形態

1. 一戸建て住宅	2. 共同住宅	3. その他（ ）
-----------	---------	-----------

問 18 お住まいの中学校区（わからない場合は町名を記入してください。）

問 19 ごみの収集や処理、ごみの減量化・資源化について、あなたのご意見、ご要望、アイデアなどありましたら、ご記入ください。

アンケートはこれで終了です。
ご協力ありがとうございました。



ごみ減量化・リサイクルに関する事業所アンケート 調査結果

1. 調査概要

(1) 目的

この調査は、事業所のごみに関する行動や考え方を把握し、「生駒市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の見直しの基礎資料とするために実施した。

(2) 調査期間と方法

調査期間：令和 7 年 8 月

調査方法：郵送配布、郵送またはウェブにて回答回収

(3) 調査対象

生駒市内 100 事業所

※減量化計画書提出事業所、大規模商業施設、従業員数 30 名以上の事業所

(4) 調査項目

- ・回答事業所について
- ・ごみの処理の状況について
- ・社会全体でのごみ減量や資源循環につながる事業活動について
- ・市の支援策について

(5) 回収の結果

有効回収票数：41 票

有効回答率：41.0%

(6) 留意点

- ・集計では、四捨五入の都合上、数値の合計が 100%にならない場合がある。
- ・グラフ中の n とは、回答者数を表し、無回答を含むが、無効・除外した回答を含まない。

2. 回答者の概要

(1) 従業者数 (n=41)

選択肢	実数	パーセント
0-10 人	4	9.8%
11-20 人	7	17.1%
21-30 人	6	14.6%
31-40 人	6	14.6%
41-50 人	3	7.3%
51-60 人	2	4.9%
61-70 人	0	0.0%
71-80 人	1	2.4%
81-90 人	0	0.0%
91-100 人	4	9.8%
100 人以上	6	14.6%
無回答	2	4.9%
合計	41	100.0%

(2) 業種 (n=41)

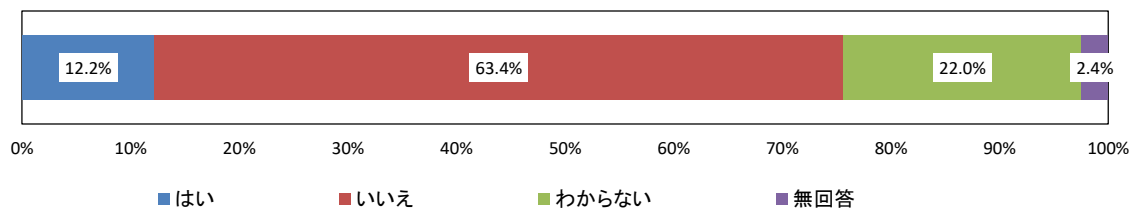
選択肢	実数	パーセント
建設業	2	4.9%
製造業	18	43.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
運輸業	1	2.4%
情報通信業	0	0.0%
卸売業	0	0.0%
総合小売業（総合スーパー、百貨店）	2	4.9%
食品小売業（食品スーパー含む）	2	4.9%
その他物品小売業	4	9.8%
飲食店	2	4.9%
金融・保険業	1	2.4%
不動産業	0	0.0%
駐車場業	0	0.0%
旅館・ホテル	0	0.0%
病院・医療	2	4.9%
社会福祉	2	4.9%
教育	0	0.0%
その他のサービス業	2	4.9%
その他	2	4.9%
無回答	1	2.4%
合計	41	100.0%

(3) 事業所の形態 (n=41)

選択肢	実数	パーセント
事務所・営業所	11	26.8%
店舗（食品）	6	14.6%
店舗（物販）	4	9.8%
工場・作業所	15	36.6%
病院・薬局	1	2.4%
理容院・美容院	0	0.0%
塾・教育施設	0	0.0%
その他	3	7.3%
無回答	1	2.4%
合計	41	100.0%

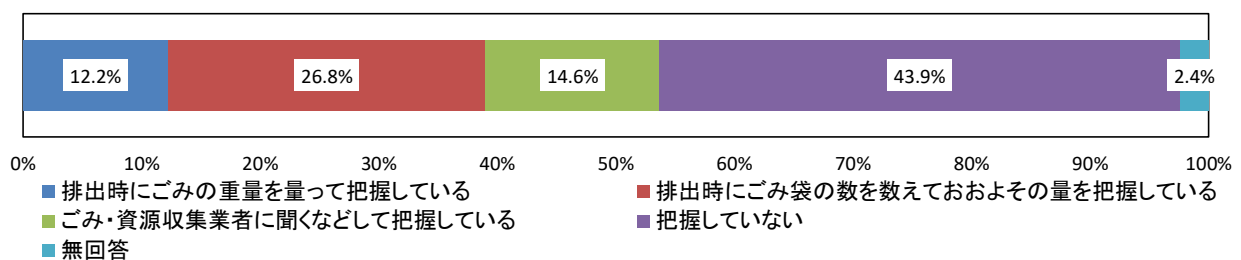
(4) 「事業系一般廃棄物減量化計画書」を提出する多量排出事業者かどうか (n=41)

「いいえ」が63.4%で、「はい」12.2%であった。



(5) 「事業系の燃えるごみ」の排出量の把握状況 (n=41)

「把握していない」が43.9%で最も多く、次いで「排出時にごみ袋の数を数えている」が26.8%、「ごみ・資源収集業者に聞く」が14.6%であった。



3. 調査結果の詳細

(1) ごみ処理の状況について

問6 貴事業所から排出されるごみの排出・処理方法をお教えてください。入居している建物の管理会社等が設置したごみ集積所等に排出している場合で、処理方法が不明な場合は、管理会社等を確認してお答えください。(単一回答)

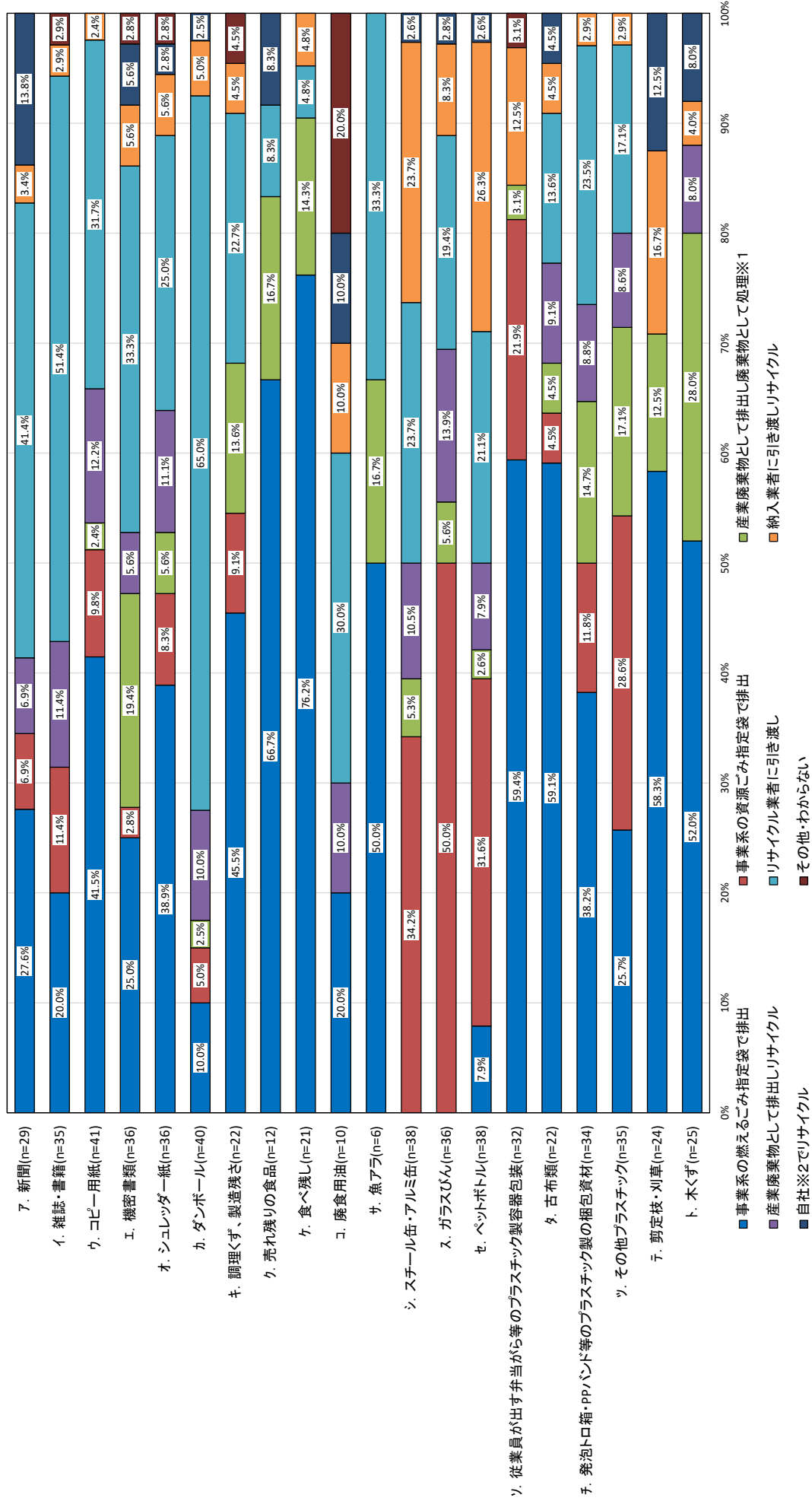
ア～カの紙類については、いずれの品目についても「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」と「リサイクル業者に引き渡し」が多くを占めていた。そのうち、「ウ.コピー用紙」(41.5%)、「オ.シュレッダー紙」(38.9%)については「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」が最も多く、「ア.新聞」(41.4%)、「イ.雑誌・書籍」(51.4%)、「エ.機密書類」(33.3%)、「カ.ダンボール」(65.0%)については「リサイクル業者に引き渡し」が最も多かった。

キ～サの食品廃棄物については、「リ.廃食用油」を除いていずれも「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」が最多であり、それぞれ、「キ.調理くず、製造残さ」は45.5%、「ク.売れ残りの食品」は66.7%、「ケ.食べ残し」は76.2%、「サ.魚アラ」は50.0%であった。「リ.廃食用油」は「リサイクル業者に引き渡し」が30.0%で最も多かった。

缶・びん・ペットボトルといった資源物については、「シ.スチール缶・アルミ缶」は34.2%、「ガラスびん」は50.0%、「セ.ペットボトル」は31.6%でいずれも「事業系の資源ごみ指定袋で排出」が最も多く、「リサイクル業者に引き渡し」「納入業者に引き渡しリサイクル」も多かった。

その他の品目については、「リ.従業員が出す弁当がら等のプラスチック製容器包装」は59.4%、「タ.古布類」は59.1%、「チ.発泡トコ箱・PPバンド等のプラスチック製の梱包資材」は38.2%、「テ.剪定枝・刈草」が58.3%、「ト.木くず」が52.0%でいずれも「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」が最も多かった。「ツ.その他プラスチック」については、「事業系の資源ごみ指定袋で排出」が28.6%、「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」が25.7%であり、これらが多くを占めていた。

なお、「発生しない」と「無回答」は除いて集計している。



※1 リサイクルされずに焼却や埋立処分されている

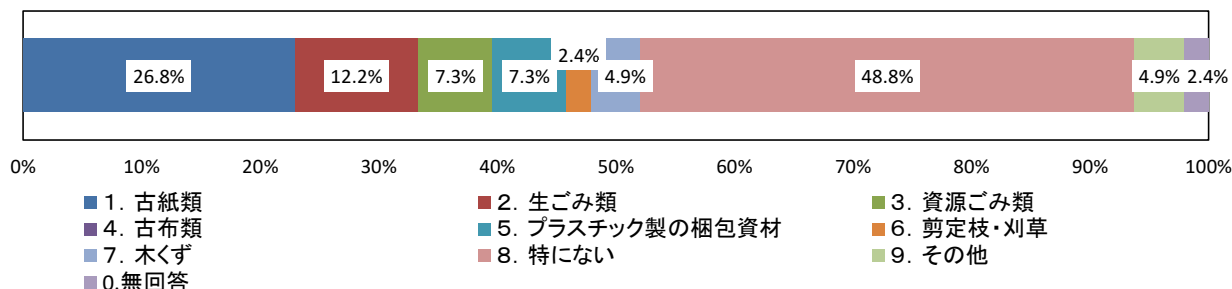
※2 グループ企業を含む

問7 貴事業所のごみで、「リサイクルをしようとしたができなかったごみ」があれば教えてください。（自由記入）

- ・鉄粉
- ・感染性廃棄物

問8 今後、特に減量化またはリサイクルしたいと考えているごみは何ですか。（複数回答、n=41）

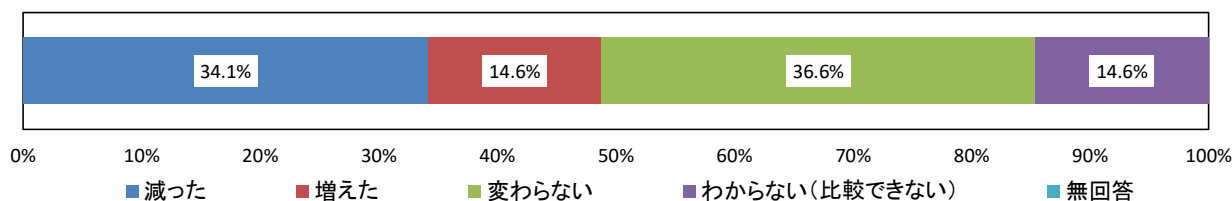
「8.特にない」が48.8%で最も多く、次いで「1.古紙類」が26.8%、「2.生ごみ類」が12.2%であった。



問9 5年前と比べて貴事業所から出る「事業系の燃えるごみ」の量は減りましたか。

（単一回答、n=41）

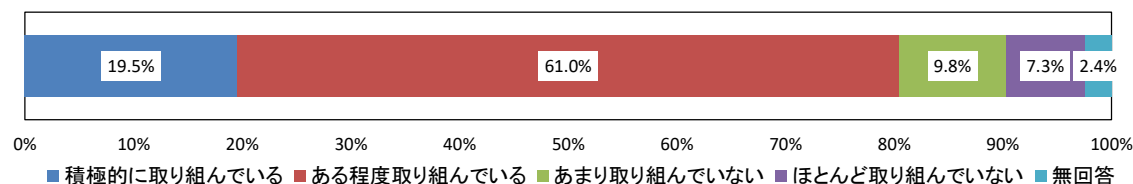
「変わらない」が36.6%で最も多く、次いで「減った」が34.1%、「増えた」、「わからない」が14.6%であった。



問 10 貴事業所では、ごみの減量化・リサイクルにどの程度取り組んでいますか。

(単一回答、n=41)

取り組んでいる（積極的に取り組んでいる、ある程度取り組んでいる、の計）が 80.5%と、取り組んでいない（あまり取り組んでいない、全くあまり取り組んでいない、の計）の 17.1%を大きく上回っている。

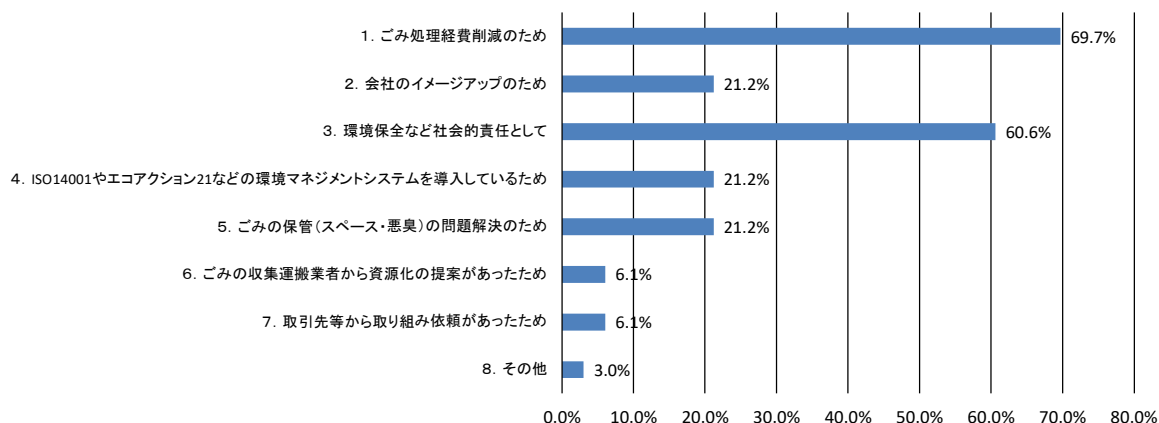


問 11 問 10「1. 積極的に取り組んでいる」「2. ある程度取り組んでいる」を選んだ方にお聞きします。

貴事業所でごみの減量化・リサイクルに取り組む理由は何ですか。

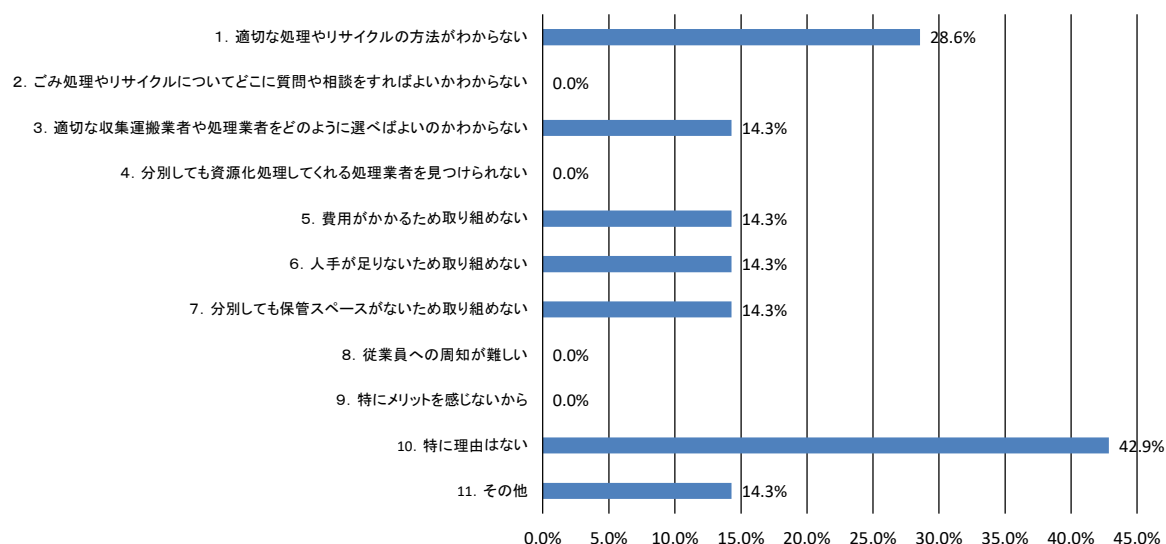
(複数回答、n=33)

「1.ごみ処理経費削減のため」が 69.7%で最も多く、次いで「3.社会的責任のため」が 60.6%、「2.会社のイメージアップ」、「4.環境マネジメントシステムの導入しているため」、「5.ごみ保管の問題解決のため」が 21.2%であった。



問 12 問 10 で「3. あまり取り組んでいない」「4. ほとんど取り組んでいない」を選んだ方にお聞きします。ごみの減量化・リサイクルに取り組めない理由は何ですか。
(複数回答、n=7)

「10.特に理由はない」が 42.9%で最も多く、次いで「1.処理などの方法がわからない」が 28.6%、「3.収集運搬業者等の選び方がわからない」、「5.費用がかかるため取り組めない」、「6.人手不足のため取り組めない」、「7.保管スペースがないため取り組めない」「11.その他」が 14.3%であった。



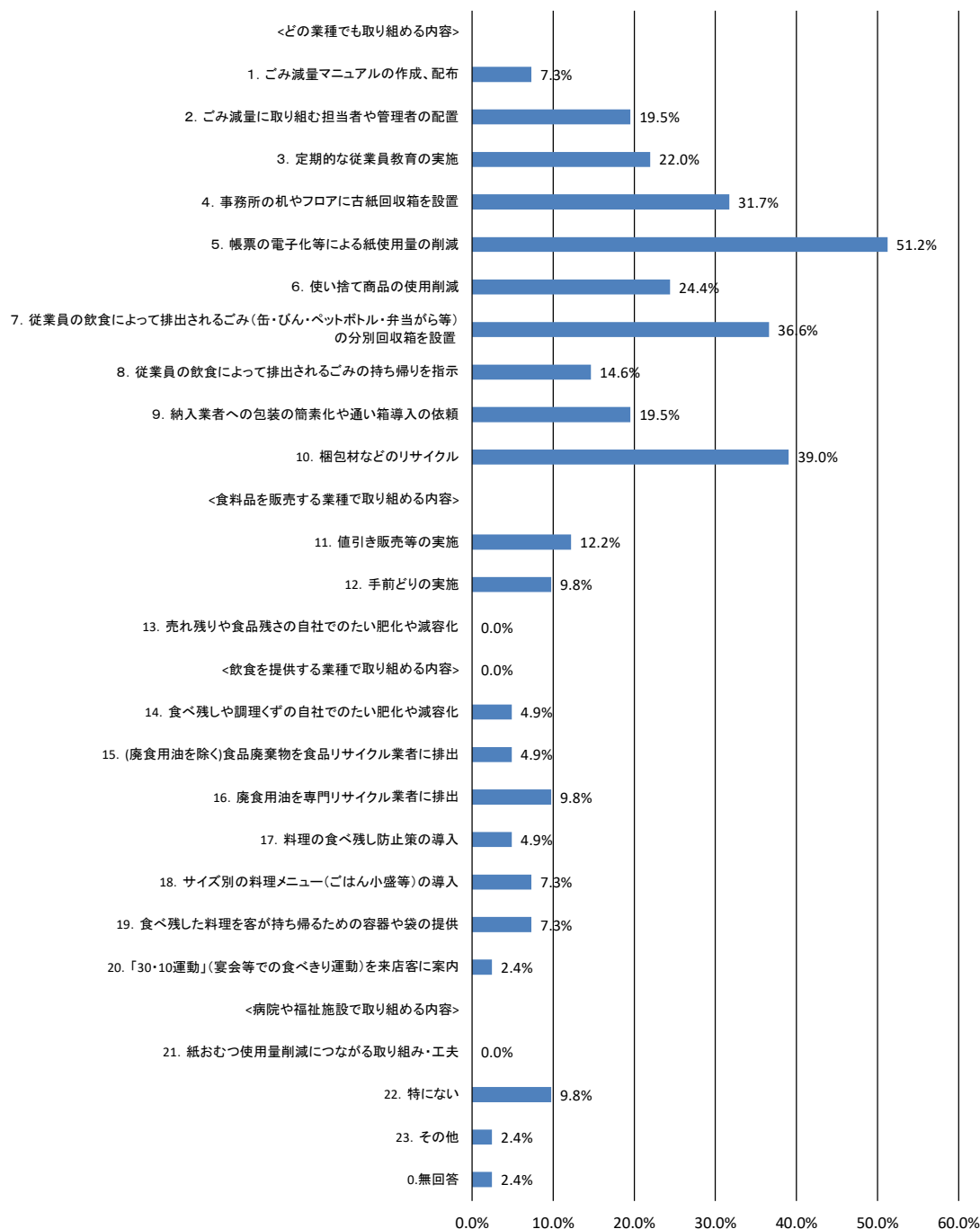
問 13 貴事業所での取り組み、取り組み意向について教えてください。

問 10 で「1. 積極的に取り組んでいる」「2. ある程度取り組んでいる」を選んだ方は、貴事業所で発生するごみの減量化・リサイクルの取り組みを選んでください。

問 10 で「3. あまり取り組んでいない」「4. ほとんど取り組んでいない」を選んだ方は、今後取り組みたいものを選んでください。

(複数回答、n=41)

「5. 帳票の電子化等による紙使用量の削減」が 51.2%で最も多く、次いで「10. 梱包材などのリサイクル」が 39.0%、「7. 従業員の飲食によって排出されるごみ」が 36.6%であった。



(2) 社会全体でのごみ減量や資源循環につながる事業活動について

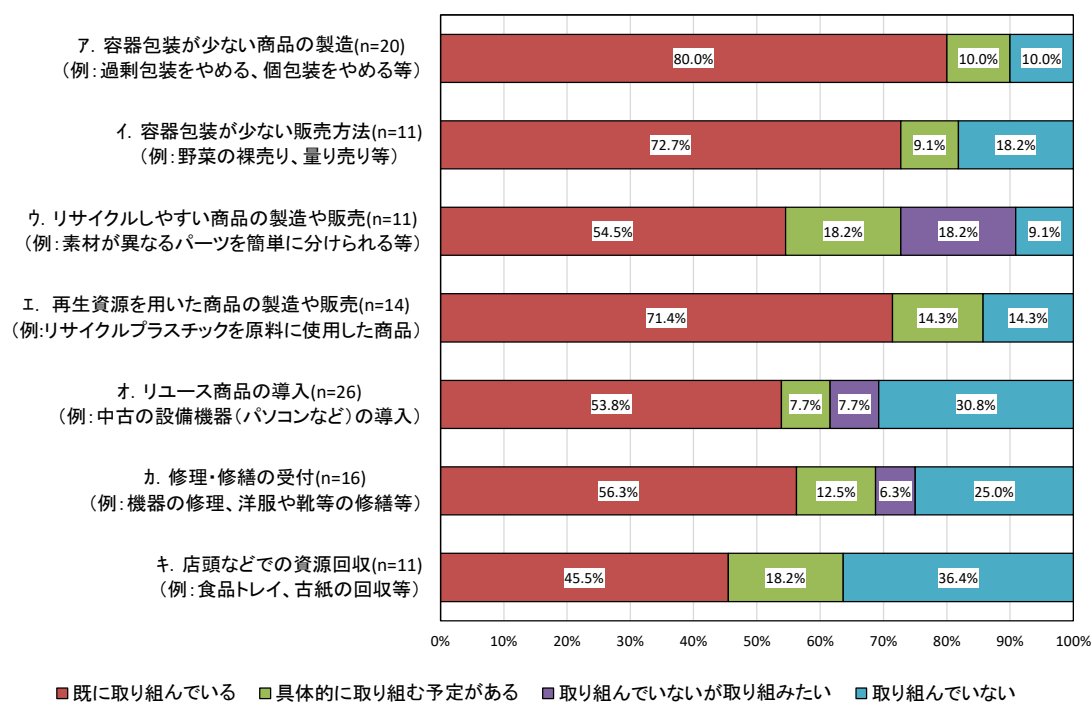
問 14 事業者だけでなく、社会全体でごみ減量やリサイクルなどにつながる商品・サービスへの取り組み状況について教えてください。(単一回答)

「ア.容器包装が少ない商品の製造」、「イ.容器包装が少ない販売方法」、「エ.再生資源を用いた商品の製造や販売」については、「既に取り組んでいる」がいずれも70%以上で多かった。

「ウ.リサイクルしやすい商品の製造や販売」、「オ.リユース商品の導入」、「カ.修理・修繕の受付」については、「既に取り組んでいる」がいずれも54%～56%と、過半数ではあるがア、イ、エと比較すると少なかった。これらのうち、「オ.リユース商品の導入」、「カ.修理・修繕の受付」については、「取り組んでいない」がそれぞれ30.8%と25.0%でア～カの中では多かった。

「キ.店頭などでの資源回収」については、「既に取り組んでいる」が45.5%と最も少なく、50%を切っていた。また、「取り組んでいない」については最も多かった。

なお、「あてはまらない」と「無回答」は除いて集計している。



問 15 事業者・市民が協働する「ごみ減量」や「資源循環」につながる取り組みに関心がありますか。（次の「取り組みの例」をお読みいただいた上でご回答ください。）

（単一回答、n=41）

事業者・市民が協働する「取り組みの例」（あくまで例示です）

例①

食品スーパーで来店者が持参した容器を用いて量り売りをする



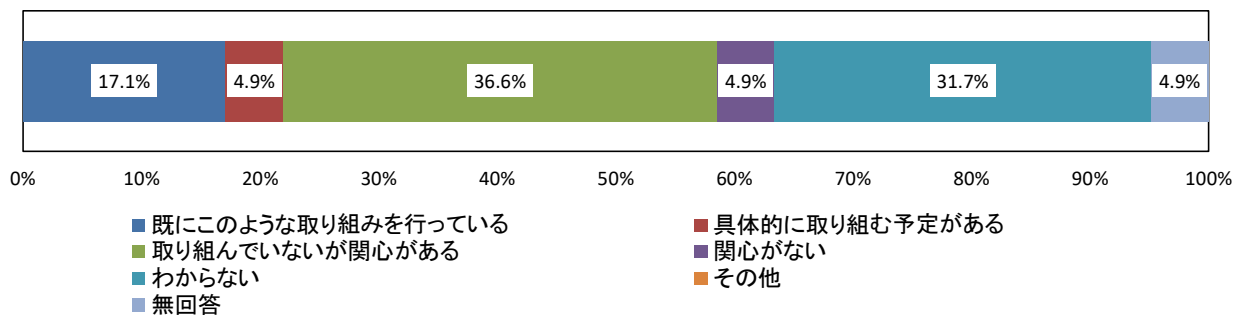
例②

飲食店で余った料理を市民が購入し食品ロスを減らす取り組み

例③

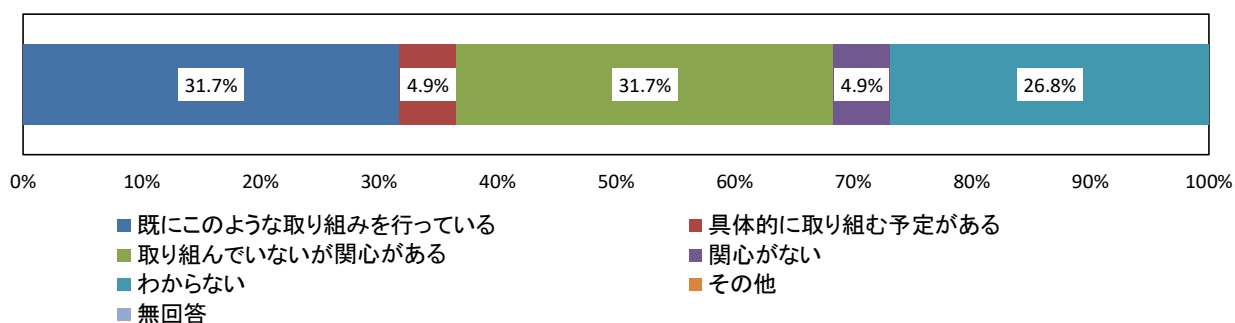
製造工場が発生する端材を工作やDIY等の素材として提供し工場のごみを減らす取り組み

「取り組んでいないが関心がある」が 36.6%、「わからない」が 31.7%であった。



問 16 生駒市は令和元年に、国から「SDGs※未来都市」に選定され、地域電力会社であるいこま市民パワーと連携した取り組み、空き家の流通促進や高齢者支援、子育て支援、滞在型ツーリズムの取り組み、農業者等への支援など SDGs のゴール達成に向けた様々な取り組みを展開しています。貴事業所では市の SDGs 関連施策と連携した取り組みに関心がありますか。(単一回答、n=41)

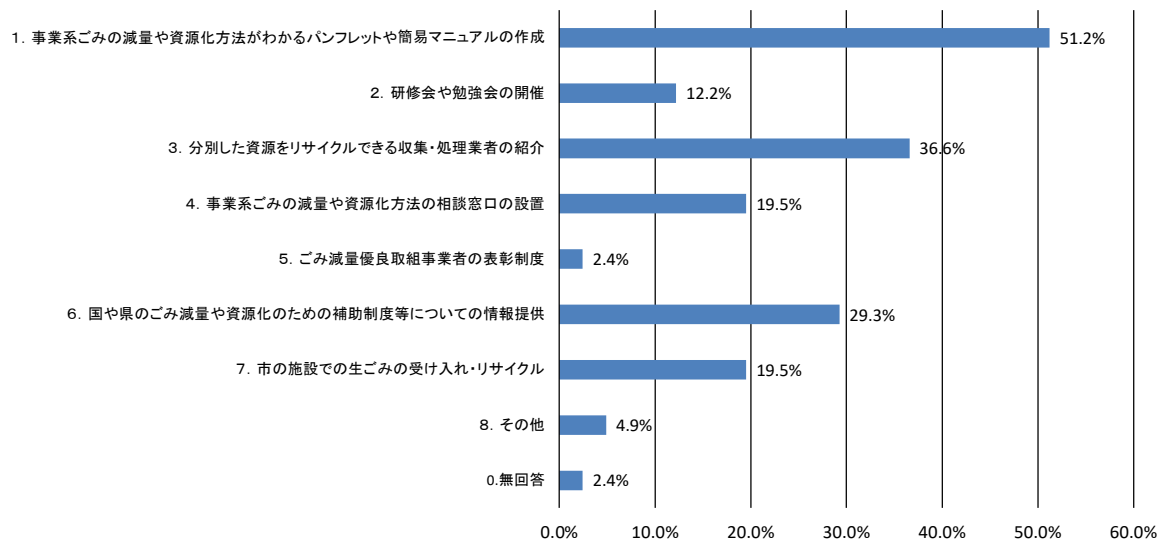
「既にこのような取り組みを行っている」、「取り組んでいないが関心がある」が 31.7%、「わからない」が 26.8%であった。



(3) 市の支援策について

問 17 貴事業所がごみ減量や資源化に取り組むために、市に求める支援策は何ですか。
(複数回答、n=41)

「1.パンフレットや簡易マニュアルの作成」が 51.2%で最も多く、次いで「3.収集・処理業者の紹介」が 36.6%、「6.補助制度等についての情報提供」が 29.3%であった。



問 18 ごみ減量化・リサイクルに関して、今後の意向、ご意見がありましたらご記入ください。
(自由回答)

・店舗でも回収しているが 家庭でのペットボトルの回収頻度を上げていただきたい

以上

卷 末 資 料

調 查 票

ごみ減量化・リサイクルに関する事業所アンケート調査

事業所の皆様には、平素から生駒市の環境行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、ごみ処理についての基本的な事項及び施策を定める「生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の中間見直しを進めています。

特に排出量の抑制・削減に向けては、市民・事業者・行政の協力・連携が不可欠であり、これまで以上に施策・取り組みを進めていく必要があります。

本アンケート調査は、事業所の皆様の貴重なご意見をお聞きし、計画改定の基礎資料としたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケート調査へのご協力をよろしくお願いします。

令和7年8月
生 駒 市

<調査のあらましと個人情報の取り扱い>

○この調査票は、「事業系一般廃棄物減量化計画書」提出事業所を中心に、市が選定した市内の大規模事業所（100 事業所）にお送りしています。

○この調査による回答はすべて統計的に処理した上でその結果を活用します。個々の調査票や回答がそのまま公表されることはありません。

〔ご回答についてのお願い〕

1. 本社・本店等ではなく、この調査票が届いた事業所・店舗でご回答ください。
2. 貴事業所の中でどなたが回答されても結構ですが、回答者個人ではなく、「事業所として」回答いただけるようご配慮ください。
3. 次の①、②のいずれかの方法でご回答ください。

①お送りした調査票（この冊子）で回答する

- ・ 回答欄の該当する番号に○印を付けてください。
一部、番号を選んで回答欄にその番号を記入する様式の質問もあります。
- ・ 記入欄には、自由にご意見等をご記入ください。
- ・ 回答された記入票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。



②パソコン・スマートフォン等でインターネット上で回答する

- ・ 次のアドレスにアクセス頂き、説明に従って回答してください。

<https://questant.jp/q/IKOMAR7JG>

（スマートフォン等で回答される場合、右上の QR コードからもアクセス可能です。）

8月29日（金曜日）までに、お近くの郵便ポストに投函してください。

本アンケート調査に関するご質問は、下記までご連絡ください。

<問い合わせ先>

生駒市役所 地域活力創生部 環境保全課

TEL: 0743-74-1111 （内線：2362）

○貴事業所について

問1 貴事業所の従業員数について教えてください。

人

問2 貴事業所の業種について教えてください。

【当てはまる番号1つに○】

1. 建設業	2. 製造業	3. 電気・ガス・熱供給・水道業	4. 運輸業
5. 情報通信業	6. 卸売業	7. 総合小売業（総合スーパー、百貨店）	
8. 食品小売業（食品スーパー含む）	9. その他物品小売業	10. 飲食店	
11. 金融・保険業	12. 不動産業	13. 駐車場業	14. 旅館・ホテル
15. 病院・医療	16. 社会福祉	17. 教育	18. その他のサービス業
19. その他（			）

問3 貴事業所の形態をお教えてください。

【当てはまる番号1つに○】

1. 事務所・営業所	2. 店舗（食品）	3. 店舗（物販）
4. 工場・作業所	5. 病院・薬局	6. 理容院・美容院
7. 塾・教育施設	8. その他（	）

問4 貴事業所は生駒市に毎年「事業系一般廃棄物減量化計画書」を提出する多量排出事業者ですか。

【当てはまる番号1つに○】

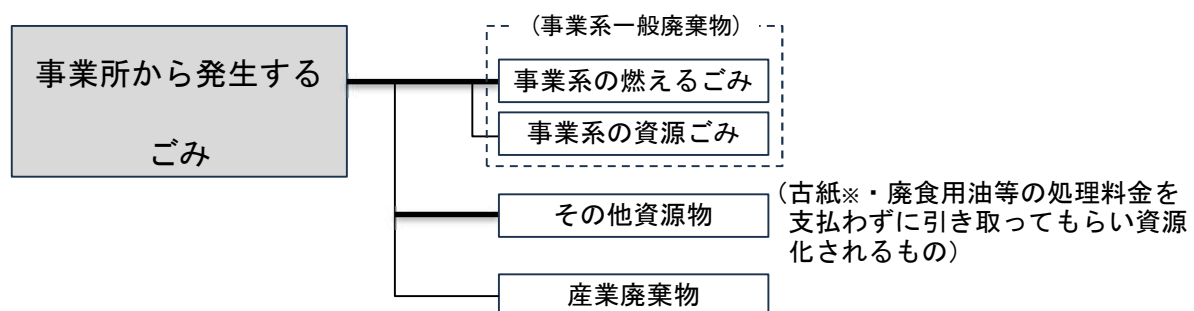
1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

問5. 貴事業所では「事業系の燃えるごみ」の排出量を把握していますか。

（次の「事業所から発生するごみについて」をお読みいただいた上でご回答ください。）

<事業所から発生するごみについて>

生駒市内の事業所から発生するごみ・資源物は、「事業系の燃えるごみ」・「事業系の資源ごみ」・「その他資源物」・「産業廃棄物」のおおよそ4つに分けて排出します。なお、このアンケートで単に「ごみ」と記しているときは、これら4つをすべて含めた意味で用いています。



※建設業、製本業、パルプ・紙・紙加工品製造業等から発生する古紙は産業廃棄物になります。

【当てはまる番号1つに○】

1. 排出時にごみの重量を量って把握している
2. 排出時にごみ袋の数を数えておおよその量を把握している
3. ごみ・資源収集業者に聞くなどして把握している
4. 把握していない

〇ごみ処理の状況について

問6 貴事業所から排出されるごみの排出・処理方法をお教えてください。入居している建物の管理会社等が設置したごみ集積所等に排出している場合で、処理方法が不明な場合は、管理会社等に確認してお答えください。

【ごみの種類（ア.～ナ.）毎に、主に当てはまる番号1つに〇】

排出・処理方法 ごみの種類		事業系の燃えるごみ 指定袋で排出	事業系の資源ごみ 指定袋で排出	産業廃棄物として排出 産業廃棄物として処理	産業廃棄物として排出 産業廃棄物として処理	リサイクル業者に 引き渡し	納入業者に引き渡し リサイクル	自社※2でリサイクル	発生しない	その他・ わからない
古紙類	ア. 新聞	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	イ. 雑誌・書籍	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ウ. コピー用紙	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	エ. 機密書類	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	オ. シュレッダー紙	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	カ. ダンボール	1	2	3	4	5	6	7	8	9
生ごみ類	キ. 調理くず、製造残さ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ク. 売れ残りの食品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ケ. 食べ残し	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	コ. 廃食用油	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	サ. 魚アラ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資源ごみ類	シ. スチール缶・アルミ缶	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ス. ガラスびん	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	セ. ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	リ. 従業員が出す弁当がら等の プラスチック製容器包装	1	2	3	4	5	6	7	8	9
その他	タ. 古布類	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	チ. 発泡トレイ箱・PPバンド等のプラ スチック製の梱包資材	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ツ. その他プラスチック	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	テ. 剪定枝・刈草	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ト. 木くず	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ナ. その他（ ）	1	2	3	4	5	6	7	8	9

※1 リサイクルされずに焼却や埋立処分されている

※2 グループ企業を含む

(どのようなごみがリサイクルできなかったか、理由と共にご記入ください。)

【当てはまる番号すべてに○】

- 【当てはまる番号1つに○】

- 【当てはまる番号1つに○】

- 【当てはまる番号すべてに○】（回答後、問13(次ページの設問)に進んでください）

- 3

【当てはまる番号すべてに○】（回答後、問13(次の設問)に進んでください）

1. 適切な処理やリサイクルの方法がわからない
2. ごみ処理やリサイクルについてどこに質問や相談をすればよいかわからない
3. 適切な収集運搬業者や処理業者をどのように選べばよいかわからない
4. 分別しても資源化処理してくれる処理業者を見つけられない
5. 費用がかかるため取り組めない
6. 人手が足りないため取り組めない
7. 分別しても保管スペースがないため取り組めない
8. 従業員への周知が難しい
9. 特にメリットを感じないから
10. 特に理由はない
11. その他（ ）

【当てはまる番号すべてに○】

22. その他 ()

23. 特になし

○社会全体でのごみ減量や資源循環につながる事業活動について

問14 事業者だけでなく、社会全体でごみ減量やリサイクルなどにつながる商品・サービスへの取り組み状況について教えてください。

【取り組み（ア.～ク.）毎に当てはまる番号1つに○】

取り組み 取り組み状況・意向など	既に 取り組ん でいる	具 体的 に取 り組 む 予 定 が あ る	が 取 り 組 ん で い な い	取 り 組 ん で い な い	あ て は ま ら な い
ア. 容器包装が少ない商品の製造 （例：過剰包装をやめる、個包装をやめる等）	1	2	3	4	5
イ. 容器包装が少ない販売方法 （例：野菜の裸売り、量り売り等）	1	2	3	4	5
ウ. リサイクルしやすい商品の製造や販売 （例：素材が異なるパーツを簡単に分けられる等）	1	2	3	4	5
エ. 再生資源を用いた商品の製造や販売 （例：リサイクルプラスチックを原料に使用した商品）	1	2	3	4	5
オ. リユース商品の導入 （例：中古の設備機器（パソコンなど）の導入）	1	2	3	4	5
カ. 修理・修繕の受付 （例：機器の修理、洋服や靴等の修繕等）	1	2	3	4	5
キ. 店頭などでの資源回収 （例：食品トレイ、古紙の回収等）	1	2	3	4	5
ク. その他 （ ）	1	2	3	4	5

問15 事業者・市民が協働する「ごみ減量」や「資源循環」につながる取り組みに関心がありますか。

（次の「取り組みの例」をお読みいただいた上でご回答ください。）

事業者・市民が協働する「取り組みの例」（あくまで例示です）

例①

食品スーパーで来店者が持参した容器を用いて量り売りをする事で容器包装を減らす取り組み



例②

飲食店で余った料理を市民が購入し食品ロスを減らす取り組み

例③

製造工場が発生する端材を工作やDIY等の素材として提供し工場のごみを減らす取り組み

【当てはまる番号1つに○】

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 既にこのような取り組みを行っている | 2. 具体的に取り組む予定がある |
| 3. 取り組んでいないが関心がある | 4. 関心がない |
| 5. わからない | |
| 6. その他（ ） | |

※SDGs（エスディー・ジーズ：Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）とは、平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年に向けた持続可能な社会を構築するための国際目標です。SDGsは、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」等の優れた理念が示されています。この考え方は行政だけでなく、民間事業者の行動指針等としても広く採用されつつあります。

1. 既に取り組んでいる	2. 具体的に取り組む予定がある
3. 取り組んでいないが関心がある	4. 関心がない
5. わからない	6. その他 ()

1. 事業系ごみの減量や資源化方法がわかるパンフレットや簡易マニュアルの作成
2. 研修会や勉強会の開催
3. 分別した資源をリサイクルできる収集・処理業者の紹介
4. 事業系ごみの減量や資源化方法の相談窓口の設置
5. ごみ減量優良取組事業者の表彰制度
6. 国や県のごみ減量や資源化のための補助制度等についての情報提供
7. 市の施設での生ごみの受け入れ・リサイクル
8. その他（ ）

--

事業所名			
所属		役職	
お名前		電話番号	
E-mail			

6